

平成 28 年度（2016 年度）

豊中市 食育推進計画年次報告書



えがおも
おいしい
おかずだね!!



今日の食事が、
明日のチカラ。

豊中市
Toyonaka City

■本報告書について

平成 25 年(2013 年)3 月、豊中市食育推進計画(平成 20 年(2008 年)3 月策定)の後継計画として第 2 期豊中市食育推進計画が策定されました。

本書は、食育に関する平成 27 年度(2015 年度)の市内の取り組み等についてまとめたものです。

第 1 章は、豊中市内で行われた特徴的な取り組みと題して、各取り組みの具体的な内容とコラムを掲載しています。

第 2 章は、豊中市内で実施された、食育に関する各事業について掲載しています。食育の視点で見た各事業の考察と、今後の方向性を見ていただくことができます。

第 3 章は、食育推進貸し出しグッズを掲載しています。必要なグッズがあれば是非ご利用ください。

豊中市食育推進計画のシンボルマークとキャッチフレーズについて

「市民一人ひとりが生涯を通じて健康で心豊かな生活ができることをめざす」
豊中市食育推進計画の実現を図り、市民のみなさまに計画を身近なものと感じていただくために募集をしました。
一般の部、児童の部から選ばれた作品です。(応募総数1,109作品)



今日の食事が、
明日のチカラ。

キャッチフレーズ一般の部
榎 寛子さんの作品

えがおも おいしい
おかずだね!!

キャッチフレーズ児童の部
南桜塚小学校
東 千咲季さんの作品

■ 豊中市食育推進計画年次報告書 目次

I. 平成 28 年度（2016 年度）のトピックス -1-

とよなか消費者協会の取り組み

～第 5 回大阪府食の安全安心顕彰制度大阪府知事賞 受賞～ - 2 -

II. 各事業の進行状況 -5-

1. 基本目標別索引..... - 6 -

2. 所管別索引..... - 7 -

3. 平成 28 年度 食育関連事業取り組み一覧..... - 9 -

III. その他（食育関連の情報提供等） -57-

食育推進貸出グッズ一覧..... - 58 -

I. 平成 28 年度（2016 年度）のトピックス



とよなか消費者協会の取り組み

～第5回大阪府食の安全安心顕彰制度大阪府知事賞 受賞～



1. とよなか消費者協会設立の経緯

とよなか消費者協会は、昭和50年(1975年)に、暮らしについての研究、学習、調査活動を通じて、「消費者主権を確立し、利益を保護する」ことを目的に消費者の暮らしの安全と健康を守り、市民に役立つことを目標として設立しました。食品の安全性など、40年以上の間、地域に密着した幅広い活動を行っています。

2. 取り組み内容

1. 生活関連物資課題調査

市民の生活関連物資に対する信頼性を確保し、適切な商品選択に役立てるとともに、事業者にも適正な表示に基づく安全な商品の提供を促すことを目的として、年1回、市内の42小売店舗において、食肉や野菜、調味料等を対象に表示等に関する調査を実施しています。

平成28年度は、「しょうゆの表示」等について調査を行いました。調査結果は、市民等が適切な商品を選択することに役立てることができるよう情報を「暮らしの情報」(くらしかん発行)等で広く提供しています。

2. 商品量目買取調査

小売店で容器や包装などで密封して販売されている食品等に表示されている内容量が適正かについて、調査を実施しています。



3. 研究発表

大阪府消費者研究発表大会及び豊中市暮らしの研究発表会において、毎年1回、時代に適した暮らしに関する問題についての調査研究成果を発表しています。

平成 28 年度は、豊中市くらしの研究発表会において、「食の安全・安心～アクリルアミドをどう減らす?～」をテーマに調査研究成果を発表しました。

調理の工夫（煮る・蒸す）でアクリルアミドを減らせることを情報提供しました。



4. 地産地消・食育活動等

生産者と消費者の顔の見える関係の中で、「食の安全・安心」をめざし、豊中市とその近郊の米や卵・野菜等を有料で配布するイベントを毎月開催しています。

また、豊中市農業祭においても「地産地消コーナー」にて、豊中産だいこんで作った大根だきを市民に無料配布しています。

さらに、子どもからシニアにいたるまでの幅広い年代を対象に、料理講習会を開催しています。「魚屋さんが教える魚のさばき方」や「バランスのよい幼児食」など多彩な内容を実施しています。



地産地消イベント



「魚屋さんが教える魚のさばき方」教室

「夏休み親子教室」では、料理実習を通して、親子で食の基本や大切さを学ぶ機会を設けることができました。

<第 5 回大阪府食の安全安心顕彰制度 大阪府知事賞 受賞>

長年にわたるこれらの取り組みが評価され、第 5 回大阪府食の安全安心顕彰制度において、同協会が大阪府知事賞を受賞しました。

大阪府食の安全安心顕彰制度は、食の安全安心の取り組みを活性化させることを目的とし、食品等の安全性の確保や、食品等に対する消費者の信頼性の確保に関し、特に優れた取り組みをした者を広く顕彰するものです。

「消費者の立場からくらしに関する問題について調査研究を実施し、その成果を発表するなど積極的に情報発信を行い、長年にわたり地域に密着した幅広い啓発活動に取り組んでいること」が高く評価されました。

～表彰式の様子～

日時：平成 29 年 4 月 28 日(金)午前 11 時 30 分～午前 11 時 45 分

場所：インテックス大阪「'17 食博覧会・大阪」

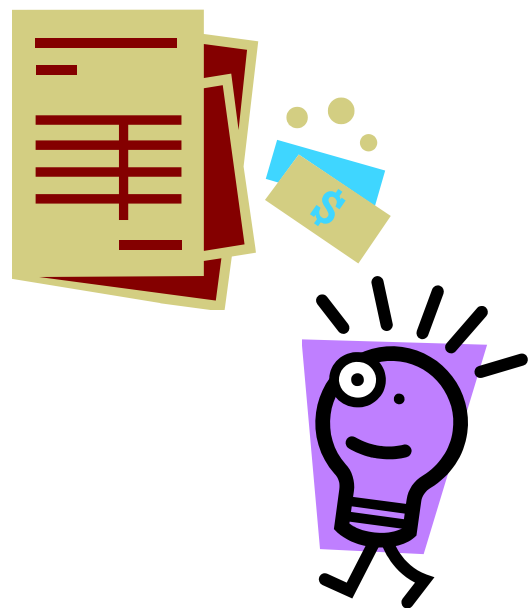


3. まとめ

長年にわたる食の安全・安心に関する取り組みと会員の熱意が評価されたと自負していますが、これからも一層世代の「食育」につながる活動を継続していきたいと願っています。少子高齢化、女性の社会進出等により食生活も多様化してまいりました。本年度は、豊中市との協働により生活関連物資課題調査の品目は、「パックごはん」に取り組み、食品の表示の問題や、おいしく調理する研究も進めております。毎月、幼児から学生、シニア、親子、外国人などすべての世代をターゲットにした料理講習会やお菓子教室を展開したり、地産地消イベントでの安心・安全な農産物の提供など消費者団体の立場で多角的な活動を精力的に展開しております。

「食べる」ことは、人が生きていく上に最も大切な営みです。食に関する正しい知識と食を選択する力を習得し、広く情報提供することによって健全な食生活を確立するお手伝いを続け、私たち一人ひとりが、バランスのとれた食生活をするすることで、生涯にわたり心豊かに生活できることをめざしていきたいと願っています。

Ⅱ. 各事業の進行状況



1. 基本目標別索引

I. 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	
a. 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	．．．．．P.10
b. 食育に関する正しい理解の促進	．．．．．P.17
c. 危機管理に対する情報提供と啓発	．．．．．P.21
d. 食育推進運動の周知啓発	．．．．．P.22
II. 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	
a. 幼年期における望ましい食習慣の形成	．．．．．P.25
b. 少年・青年期における食の自立に向けた支援	．．．．．P.29
c. 健康状態にあった食育の推進	．．．．．P.32
d. 調理技術や食に関する知識の習得	．．．．．P.36
e. 適切な食を提供するための環境整備	．．．．．P.40
III. おいしく、楽しく、食事をしよう	
a. 交流を深める場や食事をする機会の提供	．．．．．P.43
b. 楽しい食事の促進	．．．．．P.44
c. 食を通じた地域活性化の促進	．．．．．P.46
IV. 食べる物、食べることを大切にしよう	
a. 体験・機会の充実	．．．．．P.46
b. 環境教育・環境学習の推進	．．．．．P.48
c. 地産地消の推進	．．．．．P.53
V. 歯や口の健康を維持・増進しよう	
a. 歯科疾患の予防	．．．．．P.54
b. 歯や口の健康づくりに関する情報提供と普及・啓発	．．．．．P.55

2. 所管別索引

人権政策課	人権政策課【Ⅱ-d-8,9/Ⅱ-e-10/Ⅲ-a-4】 豊中人権まちづくりセンター【Ⅰ-b-1/Ⅲ-a-1,2】 螢池人権まちづくりセンター【Ⅲ-a-3】
政策企画部	広報広聴課【Ⅰ-a-1,2/Ⅱ-d-1/Ⅳ-a-1】
環境部	環境政策課【Ⅳ-b-1,3,4】 公園みどり推進課【Ⅳ-b-5,11~18,20,21/Ⅳ-c-3】 減量推進課【Ⅳ-b-6~8】
市民協働部	コミュニティ政策課【Ⅰ-a-3,4】 くらし支援課【Ⅰ-a-5~14/Ⅱ-d-14,15/Ⅳ-c-2】
健康福祉部	障害福祉課【Ⅰ-a-16/Ⅱ-b-1~4/Ⅱ-c-1/Ⅳ-a-2】 高齢者支援課【Ⅱ-c-2】 保健医療課【Ⅰ-a-16/Ⅰ-c-3,4/Ⅰ-d-1,2,4,7/Ⅱ-d-2/Ⅱ-e-1,2,3/Ⅲ-c-1】 衛生管理課【Ⅰ-c-1~3】 保健予防課【Ⅱ-c-22】 健康増進課【Ⅰ-a-17,36/Ⅰ-b-2~11/Ⅰ-d-4,15/Ⅱ-a-1,2/Ⅱ-c-3~11,20/ Ⅱ-e-4/Ⅳ-a-4/Ⅴ-a-1,2/Ⅴ-b-1~5】 保険給付課【Ⅰ-b-12,13】
こども未来部	こども事業課【Ⅰ-a-23/Ⅰ-b-14,22/Ⅰ-d-9,11/Ⅱ-e-8/Ⅲ-a-5/Ⅳ-b-10/ Ⅴ-a-3】 こども相談課【Ⅰ-a-18~21/Ⅰ-b-15~17/Ⅱ-a-3,4/Ⅱ-e-5,6】 こども園【Ⅰ-a-25,30/Ⅰ-b-23/Ⅰ-d-10,11,14/Ⅱ-a-6,8,11~13/Ⅲ-a-5/ Ⅳ-b-9,10/Ⅴ-a-4】 あゆみ学園【Ⅰ-a-26~28/Ⅰ-b-23/Ⅱ-a-7,8/Ⅳ-a-3/Ⅴ-a-5】 しいの実学園【Ⅰ-a-26,28/Ⅱ-a-7,8/Ⅳ-a-3/Ⅴ-a-5】
市立豊中病院	栄養管理部【Ⅰ-b-18,20/Ⅱ-a-5/Ⅱ-c-15~19】 看護部【Ⅰ-b-19】
上下水道局	経営企画課【Ⅱ-d-3】

教育委員会 生涯学習課【Ⅲ-b-1～4】
 読書振興課・図書館【Ⅰ-a-22/Ⅰ-d-5】
 中央公民館【Ⅱ-c-14/Ⅱ-d-4/Ⅱ-e-7】
 蛸池公民館【Ⅱ-c-14/Ⅱ-d-5/Ⅱ-e-7】
 庄内公民館【Ⅱ-c-14/Ⅱ-d-6/Ⅱ-e-7】
 千里公民館【Ⅱ-c-14/Ⅱ-d-7/Ⅱ-e-7】
 学校教育課【Ⅰ-d-7,8/Ⅱ-b-11/Ⅲ-b-5/V-a-3】
 児童生徒課【Ⅱ-b-5/Ⅱ-c-12,13】
 学校給食課【Ⅰ-a-26,30,32,33/Ⅱ-b-6～10,12,13/Ⅳ-a-7/Ⅳ-b-10】
 小学校【Ⅱ-b-7/Ⅳ-b-9】

都市活力部 スポーツ振興課【Ⅰ-d-6】
 産業振興課【Ⅳ-a-5,6/Ⅳ-c-1,4】

豊中市社会福祉協議会【Ⅰ-a-33～35/Ⅱ-d-10/Ⅲ-a-6～8/Ⅳ-a-9】
 NPO 法人市民環境会議アジェンダ 21【Ⅳ-b-2,5,12～21/Ⅳ-c-3】
 花と緑のネットワークとよなか【Ⅳ-b-5,12～21/Ⅳ-c-3】
 豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園【Ⅰ-a-23～25,30/Ⅰ-b-21～23/Ⅰ-d-10,12～14/
 豊中 私立幼稚園連合会加盟幼稚園 Ⅱ-a-6,8～11/Ⅱ-e-9/Ⅳ-a-8,10/Ⅳ-b-9/V-a-3,4】
 豊中市民間保育園連合会加盟保育園【Ⅰ-d-10,12/Ⅳ-a-8/V-a-4】
 老人クラブ連合会【Ⅱ-d-11,12/Ⅲ-a-9/V-a-6】
 一般財団法人豊中市医療保健センター【Ⅰ-b-24】
 豊中市学校歯科医会【Ⅱ-e-11/V-a-7/V-b-6】
 (一社)豊中市歯科医師会【V-a-7/V-b-6～9】
 (一社)豊中市薬剤師会【Ⅰ-d-3】
 豊中地域活動栄養士会トゥディ【Ⅱ-d-13】
 連合豊中地区協議会豊中市職員組合【Ⅱ-d-16】

3. 平成 28 年度 食育関連事業取り組み一覧

【凡例】

【対象世代区分】

- 幼年期（0～6 歳、就学前）
- 少年期（6～15 歳、児童・生徒）
- 青年期（15～24 歳）
- 壮年期（25～44 歳）
- 中年期（45～64 歳）
- 高年期（65 歳～）

【今後の方向性】

- ◎ → 充実（今後さらに積極的に取り組む予定）
- → 継続（今後も同様に取り組む予定）
- △ → 縮小（規模などを縮小して取り組む予定）
- － → 廃止（終了する取り組み）
- 完 → 完了（単年度事業、期間の決まっている取り組みで完了するもの）

平成 28 年度 食育関連事業取り組み一覧

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28 年度実施状況	5 年間の総合評価 (平成 25~29 年度)	今 後 の 方 向 性	
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	1 広報とよなか	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	月 1 回発行。全世帯と全事業所に配布しています。市の各種施策や事業計画、福祉、環境、文化・スポーツなど市民に必要な情報を提供しています。	年間発行部数 2,379,150 部 うち食育関連お知らせ記事 115 件	継続して記事を掲載していきます。	○	
		2 ケーブルテレビ番組「かたらいプラザ」	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	市広報番組「かたらいプラザ」を企画・制作し、ケーブルテレビで放送しています。	年間番組制作数 25 件 うち食育関連の放送 2 件	継続して告知等を実施していきます。	○	
		3 市民公益活動推進のための情報提供	コミュニティ政策課		●	●	●	●	●	●	●	「市民活動情報サロン」（豊中駅舎内）にて、市民の自主的・自発的な社会貢献活動（市民公益活動）に関する情報提供や相談等を実施しています。（運営は、公募によりとよなか市民公益活動協議体に委託）	市民活動情報サロン来場者数 7,712 人 団体情報掲載団体数 139 団体	「食育」をはじめ、さまざまな分野の市民公益活動への関心を高め、活動のきっかけづくりや市民団体どうしのつながりづくりにつながっています。	○	
		4 市民公益活動推進助成金	コミュニティ政策課		●	●	●	●	●	●	●	分野を問わず、公募し、市民公益活動事業に必要な経費の一部を助成。市民公益活動団体の自律的・継続的な発展を支援することにより、市内の市民公益活動全体の推進を図る制度です。	助成金交付事業数 (8 事業) 助成金交付額 (970,000 円)	「食育」をはじめ、さまざまな分野の市民公益活動団体が、助成金を活用し、段階的に自律発展しています。	○	
		5 技術・家庭科副読本「くらしのノート」	くらし支援課				●						消費者教育資料集（技術・家庭科副読本）「くらしのノート」を作成し、学校現場で活用を推進しています。豊中市食育推進計画に関する記述あり。	小学生版に食育推進計画に関する記述あり。 市内在学の小学 5 年生に配布 小学生版 4,100 部発行	食に関する情報を伝えることができました。	○
		6 生活関連物資課題調査	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	●	（とよなか消費者協会に委託）食料品、日用品等の生活関連物資について、年 3 回テーマを決め市場調査を行っています。	年 3 回実施。 調査内容「醤油等の品質表示などの調査」「量目調査」等	調査結果を情報配信し、食に関する情報を伝えることができました。	○
		7 くらしの情報	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	●	消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらしかん及び市内公共施設で配布しています。	A4判 3,000 部発行/回 点字版 B5判 15 部発行/回 各年 4 回	食に関する情報を伝えることができました。	○
		8 くらしかんのホームページ	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	●	くらしかんホームページにより、消費生活情報を提供しています。	市ホームページで、引き続き消費生活情報を提供しました。 総利用件数 35,850 件	食に関する情報を伝えることができました。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	9 くらしかん祭り	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	①消費者問題等を楽しく学んでもらうことを目的に毎年統一テーマを決め、様々な催しをくらしかん全体で行う消費者啓発イベントを開催しています。 ②平成10年度からくらしかん登録グループとともに実行委員会体制で企画運営をしています。	協力団体19団体(くらしかん登録グループを除く) 参加者数945人	食に関するブースを設けているので、食育を推進することができました。	○	
		10 くらしの教員セミナー	くらし支援課					●	●	●		小中学校技術家庭科教員対象の消費者問題啓発講座(年2～3回)を実施しています。	2回実施。(内食育関係0回)	小中学校の教員向けに、学校における消費者教育を推進することができました。	○	
		11 消費者啓発講座	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	●	①消費生活セミナー:消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ②消費者月間行事:消費者月間の5月に内閣府の統一テーマに沿って啓発事業を実施しています。 ③学校向けに啓発講座を開催しています。	①消費生活セミナー:2回(内食育関係0回) ②消費者月間行事:1回(内食育関係0回) ③学校における啓発事業98回(1クラス1回でカウント)3,714人(内食育関係54回1,783人)	食生活全般に関する講座を実施し、食育を推進することができました。	○
		12 くらしの研究発表会	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	●	くらしに関する問題について、調査・研究をしている消費者グループなどに発表の機会の提供を毎年行っています。	発表団体は4グループ、「くらしから提案!2016」を発行	今回は食に関する研究発表が2テーマあり、食に係る知識を深めることができました。	○
		13 生活情報ひろば事業 (市民啓発業務等)	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	●	(とよなか消費者協会に委託) 平成18年8月に制定した「豊中市の消費者のくらしを守る条例」に基づいて開設した「生活情報ひろば」において、くらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。	パネル展4回「地産地消の推進と大阪産農産物」他 地産地消イベント12回 講座18回「洋菓子教室 ガナッシュブラウニー」「魚屋さんが教える魚のさばき方(アジ)」「ベトナム料理へようこそ」等	くらしかん登録グループの特色を生かした食に関する講座やパネル展示を実施し、食育を推進することができました。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28 年度実施状況	5 年間の総合評価 (平成 25～29 年度)	今 後 の 方 向 性	
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	14 消費者活動の支援	くらし支援課						●	●	●	●	登録グループ 8 団体	くらしかん登録グループの特色を生かした食に関する講座やパネル展示を実施し、食育を推進することができました。	○	
		15 市立障害者通所施設等での給食の献立表と給食だよりの配布	障害福祉課						●	●	●		毎月 1 回	食育に関する情報発信の貴重な場となりました。平成 29 年度よりみのり園が民営化、たちばな園が指定管理者制度の導入をしたことに伴い、事業完了しました。	完	
		16 ホームページ「食生活・栄養」	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	●		小学生メニューコンテスト入賞作品の紹介や、食と健康に関するアンケート調査結果報告等を掲載しました。	食育に関する情報を発信できました。	○
		17 「食事バランスガイド」の啓発	健康増進課		●	●				●	●	●		随時実施	「食事バランスガイド」を参考に食生活を行う人を引き続き増やしていきます。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28 年度実施状況	5 年間の総合評価 (平成 25～29 年度)	今 後 の 方 向 性
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	18 情報誌等の発行	こども相談課 子育て支援センター		●	●						妊娠がわかってから就学前までの子育て情報を掲載した「子育てサービスガイド」、公立こども園・民間保育園・私立幼稚園・子育て支援センターの情報を掲載した「子育てマップ“てくてく”」を発行し、離乳食講座・食の講座の情報を提供しています。	同左	各支援センターなどに設置。こんにちは赤ちゃん訪問でも情報誌を配布し、市民に活用されています。	○
		19 子育て支援ホームページの充実	こども相談課 子育て支援センター			●						豊中市ホームページにおいて、子育てに関するさまざまな情報を公開するとともに、最新情報を定期的に更新しています。	同左	毎月更新を行うことで、最新の子育て情報が発信でき、さまざまなイベントへの市民の参加につながりました。	○
		20 子育て支援センターほっぺ事業	こども相談課 子育て支援センター			●						①地域子育て支援センターを統括する中核施設として、子どもの視点に立った子ども施策の企画調整、子育て・子育て情報の受発信や相談、子育て講座(手づくりおやつ講座)、地域の子育て支援する人材の育成等を行い、さまざまな子育て・子育て支援活動をサポートしています。 ②地域福祉計画の保健・福祉・医療の関係機関と連携して全市的な子育て支援のネットワークづくりを進めています。	育ちの講座 (1,2,3 歳) 年 2～4 回	離乳食の悩みから始まって、食に関する悩みの相談が多いので、講座の中で子どもの育ちを伝える一方で、参加者同志、食育に関する工夫についての情報交換などを行いました。	○
21 地域子育て支援センター事業	こども相談課 子育て支援センター			●						①16ヶ所の地域の子育て拠点施設として、子育て相談、情報提供、子育てサークルの育成、遊びや交流の場の提供等を行っています。 ②地域支援保育士とともに、「地域福祉ネットワーク会議子ども部会」を運営、住民や関係機関・団体との連携のもと地域の子育てネットワークづくりに取り組んでいます。	地域子育て支援センター食育講座 概ね、各年 1 回程度	こども園内の支援センターなので、調理担当の協力のもと実践に対応した食の提供を行うので、参考になったという声が多く聞かれました。	○		

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	22 関連資料提供、読書振興	読書振興課・図書館		●	●	●	●	●	●	●	①食育に関する図書や資料・情報の収集と提供・相談を行っています。 ②食育への関心を深めていくため関連資料の展示などを行っています。	すこやかプラザで開催されている健康カレッジ（テーマ「シニアライフ」）にて口腔ケア、食生活についての関連資料の紹介、貸出を行いました。同時に食育パスファインダー（情報の調べ方パンフレット）や利用案内を配布しました。	講座・イベントのテーマや参加者層に応じて、関連図書の紹介や貸出を行っています。幅広い層・部局の講座・イベントに対応可能で、参加者からも講座について学びなおすことができた等、好評をいただいています。	○	
		23 食に関する情報発信「簡単おいしいクッキング」「びよびよ（離乳食の進め方）」「食育だより」等	市立こども園、こども事業課				●						レシピや食べ物に関する情報などを通じて、保護者に食育の重要性を伝えています。	随時配布 献立表の中に記載食材紹介や季節の行事などを知らせています。給食予定献立表の中に各園での食に関する情報（食材紹介や季節の行事など）を記載しました。	こども園(旧保育所)で実施しているメニューは親しみやすく簡単に作れるレシピが多く、保護者に好評です。	○
			豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園				●						レシピや食べ物に関する情報などを通じて、保護者に食育の重要性を伝えています。	毎月の献立表に食に関する情報を掲載。（旬の紹介など）「ごはんだより」「食育だより」「クラスだより」などの発信もあります。	園の取り組みに関心をもってもらえた。	○
	24 保護者向けに発行する通信	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園				●						栄養士等による食育に関する記事を掲載しています。	管理栄養士作成の「食育コラム」通信などの発行もあります。	食に関心をもってもらう良い機会となっています。	○	
	25 給食の献立表等の保護者への配布	市立こども園				●						毎月給食予定献立表を配布。	毎月給食予定献立表を配布。	月1回配布（アレルギーの園児に別メニュー配布）	献立を伝えることで家庭での食事の参考となり、児童、保護者への食物アレルギーの対応にも活用されています。管理栄養士作成の成分献立表は評価されています。	○
		学校給食課					●					毎月給食予定献立表を配布。	毎月給食予定献立表を配布。	月1回約20,000枚×11ヶ月分配布	献立を伝えることで家庭での食事にも役立ちます。児童及び保護者の食物アレルギーの対応にも活用しています。	◎
		豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園				●						毎月給食予定献立表を配布。	毎月給食予定献立表を配布。	献立表を家庭数配布し、アレルギー対応の献立表も別に配布しています。	家庭での食事に役立ち、園児や保護者の食物アレルギー対応にも活用されています。	◎

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	26 給食だよりの配布	あゆみ学園、しいの実学園			●						給食予定献立、食育に関する情報を掲載した給食だよりを配布しています。	月1回	食育に関する情報発信の貴重な場と考えています。	○	
		27 食育だよりの配布	あゆみ学園			●						給食に関する情報を記載した「食育だよりの」を配布しています。	月1回	子どもたちの人気のメニューを紹介し、食事のメニューの広がりにつなげます。	○	
		28 レシピの発行	あゆみ学園、しいの実学園			●						給食の中から、家庭で作りやすいようにアレンジしたレシピを発行しています。	随時実施。	家庭での食事のメニューの広がりにつながると考えます。保護者からも好評です。	○	
		29 小学校給食ホームページ	学校給食課		●	●	●	●	●	●	●	●	①献立表の掲載 ②毎日の献立を画像付で紹介 ③給食メニューのレシピ紹介 ④食育イベント等の報告	給食実施日(約190日/年)のA・B・C献立のレシピ。給食をいっしょに!の活動報告。おすすめレシピ(10件)など	児童がどのような給食を日々食べているのかを保護者の方も確認できるツールとして役立てていただいています。	◎
		30 こども園地域活動事業	市立こども園		●	●	●	●	●	●	●	●	園庭開放、誕生会、発育測定、年間行事、高齢者との世代間交流、育児講座、赤ちゃんサークル等を行っています。	地域の子育て家庭対象に園庭開放(毎日)。 誕生会・発育測定(月1回)。 こども園行事に参加案内、世代交流随時、講座、サークル活動の定期的実施(毎月) 親子体操(概ね毎月1回実施)など。	安心して遊べる場所であり、情報交換や相談等で継続して来られる方が多く、地域に果たす役割は大きいと思います。また園庭開放は園を知っていただくよい機会、子育て相談を受けたり、同年代の子どもをもつ保護者の交流の場になっています。誕生会での親の給食試食会など行う時は好評です。	○
豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●	●	●	●	●	●	●	●	所庭開放、誕生会、発育測定、年間行事、高齢者との世代間交流、育児講座、赤ちゃんサークル等を行っています。	園庭開放をはじめ、未就園児対象の左記のとりにくみに加えて、親子クッキングや親子体操などのとりにくみもあります。	子育ての相談を受けたり、保護者間の交流の場となっています。	○		
31 教室向け給食だよりの「もぐもぐ」、栄養メモ	学校給食課				●						毎月、教室掲示用に給食だよりの「もぐもぐ」、献立カレンダー、(栄養・食品に関する説明入り)を発行しています。	給食だよりの「もぐもぐ」、献立カレンダーは月1回各クラス1枚ずつ配布しています。	献立を通して、栄養に関する知識や食育情報の提供の場として実施しています。	◎		

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性
I 食育に関する情報を正しく理解して、 実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や 情報提供	32 お弁当づくりの冊子	学校給食課				●					お弁当づくりの冊子を6年生児童に配布 しています。	お弁当づくりの冊子を6年生児童 に配布しています。	6年生児童数約4,000部配布	◎
		33 子育てサロン	豊中市社会福祉協議 会			●	●					(市補助事業) 親の出会いの場・学習・交流の場づくりと して、校区福祉委員会と民生・児童委員が 連携して実施。食育に関する相談も行っ ています。	38校区 495回/14,505人	継続実施	○
		34 ふれあいサロン	豊中市社会福祉協議 会		●	●	●	●	●	●	●	(市補助事業) なかまづくり・健康増進、いきがいつく りの場として開催校区福祉委員会民生・児童 委員が連携して実施。食育に関する相談も 行っています。	38校区 1,486回/22,938人	継続実施	○
		35 地域子育て支援事業	豊中市社会福祉協議 会			●						(市補助事業) ①わいわい子育てミーティングを開催し ています。 ②子育てサークルマップを作成していま す。 ③校区福祉委員会での子育て支援活動(小 地域福祉ネットワーク活動) を進めています。	①1回26人 ②5,000部 ③38校区(495回/14,505人)	継続実施	○
		36 健康教室	健康増進課		●	●	●	●	●	●	●	健康づくり推進員がその居住する小學校 区において、豊中市(健康増進課)と協力 して実施する健康教室で、食育や口の健康 に関するテーマも取り上げています。校区 福祉委員会・公民分館・老人会等と共催し たり、講師を市や保健所の専門職員以外に 地域住民にお願いしたり、小学校や地区会 館で行ったりと、地域に密着して行ってい ます。	校区健康教室68回開催 参加者1,449名 うち、食育に関するテーマ10回開 催 参加数287人	健康に関する情報を地域で展開 する役割を担う団体として、各 校区での健康教育の企画・開催 は役割を果たしていると考えま す。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性															
I	b	食育に関する正しい理解の促進	食育に関する正しい理解の促進									子ども、保護者からの子育てや教育等に関する相談全般を行っています。また、地域の関係機関等と連携して支援を行っています。	食事を含めた生活習慣の大切な部分も伝えながら、相談支援を行いました。 相談回数 105回 相談者数 105人	食生活や生活習慣の乱れが感じられる場合には、それらを見直すような助言等を継続的に行っていくことが大切であると考えています。	○															
																1	子育て・教育相談	豊中人権まちづくりセンター			●	●								
																2	母子健康手帳交付時の指導	健康増進課		●							母子健康手帳の交付の機会を通じ、医療職がすべての妊婦と面接することにより個々の妊娠・出産・育児などに関わる不安や悩みを把握し、必要な保健指導や諸サービスの紹介などの援助を行っています。	妊娠届出数 3,634人	医療職がすべての妊婦と面接することで、妊娠期からの支援や情報提供を行うことができています。	○
																3	妊産婦・乳幼児等電話面接相談	健康増進課		●	●						①妊産婦・乳幼児の保護者等の電話等による相談に対して、保健師、栄養士、歯科衛生士、助産師等が相談に応じています。 (平成22年6月から「妊娠出産子育て総合相談窓口」を開設し、関係機関との連携もはかります) ②健診後に育児状況など確認が必要と思われる対象者に対し保健師等から電話による保健指導を行っています。	電話面接相談数延 11,492人	専門職が相談内容に応じて、対象に合った指導を行いました。継続的に相談支援が必要な対象者には、電話等で保健指導を行いました。	○
												①各健診や電話相談などで相談を希望したり、必要と思われる対象者に案内し、3会場で1～2回/月ずつ実施。保健師・栄養士・保育士が相談に応じます。 ②地域の校区福祉委員会や保育所などと連携した地区育児相談を実施しています。	179回実施、相談数延 2,666人	専門職が相談内容に応じて、対象に合った指導を行いました。継続的に相談支援が必要な対象者には、面接等で保健指導を行いました。	○															
4	育児相談	健康増進課			●																									

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
I 食育に関する情報を正しく理解して、 実際に行動しよう	b 食育に関する正しい理解の促進	5 妊産婦・乳幼児等訪問指導	健康増進課		●	●						必要と認められた人に対し保健師または助産師・栄養士等が家庭訪問を行い、個々の状態に応じた保健指導や必要な援助を行っています。	実 4152 人 延 4814 人	専門職による家庭訪問で個々に応じた保健指導ができました。	◎	
		6 4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健診時の保健指導	健康増進課			●						①4か月児健診では、第1子に対して離乳食などについて集団指導を実施しています。また、栄養士や保健師などによる個別の相談や保健指導も行っています。 ②1歳6か月児健診及び3歳6か月児健診では、栄養士や保健師などが相談や保健指導を行っています。	①4か月児健診 実施回数 48 回 集団 1,839 人、個別 19 人 ②1歳6か月児健診 実施回数 44 回 個別 250 人 3歳6か月児健診 実施回数 38 回 個別 78 人	専門職が相談内容に応じて、対象に合った指導を行いました。継続的に相談支援が必要な対象者には、二次検診、育児相談、面接、電話等で保健指導を行いました。	◎	
		7 健康相談	健康増進課							●	●	●	生活習慣病予防・介護予防・歯・栄養・心など健康に関する相談に電話や面接で応じています。 ①面接相談（糖尿病、病態別食生活、歯科、リハビリ相談など） ②電話相談	935 回 1900 人	食に対する相談に対しては、各専門職で対応しています。	○
		8 骨粗しょう症検査時の保健指導	健康増進課						●	●	●	●	18歳以上の女性を対象に、骨密度測定（集団検診）を行っています。 ○超音波によるかかとの測定	骨密度測定 1,387 人	測定日の回数を増やし、受診しやすい環境づくりに努めました。	○
		9 訪問指導	健康増進課							●	●	●	保健師・作業療法士・歯科衛生士が家庭を訪問し、介護や療養方法、健康管理に必要な事項を指導しています。	訪問 実 41 人 延 193 件	専門職による訪問指導で対象に合った指導ができました。食に関する問題は常に付随しています。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性		
I 食育に関する情報を正しく理解して、 実際に行動しよう	b 食育に関する正しい理解の促進	10 特定健診	健康増進課							●	●	●	平成20年度より医療保険者に、被保険者及び被扶養者（いずれも40歳～74歳）を対象とする健診・保健指導の実施が義務付けられました。豊中市国民健康保険加入者を対象に実施しています。	特定健診 19,756人 (受診率 28.0%)	健診の受診によりメタボリックシンドロームの発見などを図ってきました。	○	
		11 特定保健指導	健康増進課								●	●	●	特定健診を受診した結果、メタボリックシンドロームやその予備群と判定した人に対して、生活習慣を振り返り、その改善につなげるための特定保健指導を実施しています。	平成28年度特定保健指導 動機づけ支援 390人、積極的支援 57人、計 447人（受診率 25.3%）	メタボリックシンドロームの解消や予防のための指導を行いました。29年度より医療機関、スポーツクラブ等の業者に業務委託し継続します。	○
		12 骨密度測定時の保健指導	保険給付課						●	●	●	●	健康展参加市民を対象に、市民が自己の健康管理をするための支援として骨密度測定及び保健師による指導を実施しています。	開催回数 1回 参加者数 202人	市民が自己の健康管理をする為の支援が来ています。	○	
		13 人間ドック受診時の保健指導	保険給付課								●	●	●	人間ドック受診対象者（20年度より30歳以上74歳以下）に対し、医療機関が個別指導を実施しています。	人間ドック 1,909人 脳ドック 195人 セット（人間ドック+脳ドック） 1,397人	医療機関が個別指導をすることによって疾病の予防、健康管理をするための支援ができています。	○
		14 放課後子どもクラブでの指導	子ども事業課				●							放課後、帰宅しても保護者が仕事などで家庭に不在の本市に居住する、または本市の市立小学校の1年生から4年生（支援学級在籍の児童及び本市に居住する支援学校在籍の児童は6年生）までの児童の健全育成をはかっています。	放課後子どもクラブの全日開設日の弁当時に、食事マナーや食べ物を大切にせず残さず食べることを感謝していただくことなどの指導を行いました。また、身体作りにつながっていることに気づくよう指導しました。	「いただきます。」「ごちそうさまでした。」のあいさつをする中で、お弁当を作ってくれる人への感謝の気持ちが見受けられ、また、食べ物と体づくりがつながっていることを感じながら、友達と楽しく食べることができました。	○
		15 育児支援家庭訪問事業	子ども相談課 子育て支援センター				●							児童の養育支援が必要でありながら、自ら支援を求めて行くことが困難な状況にある家庭に対して、家庭に訪問し育児に関する相談や助言等の支援を行っています。	育児支援家庭訪問回数 55回	個々の相談内容に応じた助言を行い、相談内容によっては関係機関と連携を図りながら支援を行いました。	○
16 子育て支援センターの相談事業	子ども相談課 子育て支援センター				●							育児、食育、健康などについての相談指導（電話、面接、訪問、出前相談）を子育て支援センター・地域支援保育士が行っています。	ほっぺ相談件数 1,741件 地域子育て支援センター相談件数 9,180件	電話相談の他にも支援センターを利用する保護者が気軽に何でも相談できるという安心感から不安の軽減につながっています。	○		

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28 年度実施状況	5 年間の総合評価 (平成 25～29 年度)	今後の 方向性	
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	b 食育に関する正しい理解の促進	17 こんにちは赤ちゃん事業	こども相談課 子育て支援センター			●						生後 4 ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、授乳状況など親子の心身の状況の把握、および助言を行います。また、子育てに関する情報提供を行います。	訪問対象者数 3,583 人	対象家庭への情報提供を行った後に、近くの支援センターや子育てサロンに出かけられるので、子育て期の早期に地域とつながりやすくなります。	○	
		18 個人栄養食事指導事業	市立豊中病院栄養管理部		●	●	●	●	●	●	●	●	医師の指示による、疾病別の個人栄養食事指導を行っています。	指導人数 1121 名	医師の指示のもと、個人に即した栄養相談ができました。	○
		19 ふれあい看護での相談事業等	市立豊中病院看護部		●	●	●	●	●	●	●	●	①看護の日イベントを行っています。 ②栄養管理部では各種生活習慣病の食事による予防及び治療についてのパネル展示、骨密度測定・血糖測定・体脂肪測定後の異常値が出た方への無料栄養相談などを行っています。	開催回数 1 回。相談人数 23 人	【骨粗鬆症】、【カルシウム摂取チェック】、【コレステロール】などについて、パネル展示を行いました。また骨密度チェックや血糖測定後の栄養相談希望者に、栄養相談を実施できました。一般市民の方に自身の食事内容を見直す機会を提供でき、年度ごとのテーマにあわせた食事の啓発活動を行えました。	-
		20 オープンホスピタルでの病院食体験	市立豊中病院栄養管理部	*	●	●	●	●	●	●	●	●	オープンホスピタルイベントを行っています。日頃は見ることのできない病院内の設備や医療の世界を知ってもらふ機会です。 栄養管理部では栄養と食事についての体験型イベントを企画・実施しています。	開催回数 1 回。参加人数 26 人	テーマ「伝えたい。心温かな信頼される医療を」のもと、市民の方に病院食「マチカネレシピ」を体験していただきました。 家庭で作られるおいしくバランスのよい食事の啓蒙活動となり、高評価を頂きました。	○
21 地域に開かれた幼稚園づくり事業での相談等	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●								私立幼稚園における「子育て支援事業」(育児・教育相談など)を実施しています。	キンダーカウンセリングの実施、未就園児対象の園庭開放時の相談。	長年の継続事業で成果がでていいると思われる。	◎	

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
I 食育に関する情報を正しく理解して、 実際に行動しよう	b 食育に関する正しい理解の促進	22 育児相談・就学前相談	こども事業課			●						こども園を会場に、地域の子育て中の保護者を対象にした専門家による相談事業を実施しています。	随時実施 専門家による相談を実施	こども園においては、食育偏食についての相談の他、心身の発達やしつけ・進学に向けての相談も多くなってきています。	○	
			豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園			●							地域の子育て中の保護者を対象にした専門家による相談事業を実施しています。	私立幼稚園においてもキンダーカ ウンセリング実施。	心身の発達や偏食の相談も増 えています。	○
		23 ふれあい子育て相談	市立こども園・あゆみ 学園				●							子育てに関する電話相談と来所（園）による相談を行っています。	発達相談や育児相談を、園内のみならず地域にも広報し受けました。	各々の状況に合わせたアドバイ スにより育児不安が軽減され ています。
	豊中市私立幼稚園連 合会加盟園					●							子育てに関する電話相談と来所（園）による相談を行っています。	随時。	各々の状況にあわせたアドバイ スができます。	○
	24 電話・面接健康相談	一般財団法人豊中市 医療保健センター				●	●	●	●	●	●	●	（団体自主事業） 電話もしくは面接で、健康に関する相談に対応しています。相談の対応は、医師会・ 歯科医師会及び薬剤師会の会員が行い、食 育や口の健康に関する内容も相談できま す。 市民健康展会場での相談では、栄養相談の 窓口も設けています。	8科目健康相談 実施回数5回 相談件数70件 14科目健康相談 (市民健康展で実施) 相談件数129件	幅広い年齢層、相談内容に対応 し、利用者からも概ね良い評価 を得ています。かん	○
			1 食中毒予防街頭キャンペ ーン	保健所衛生管理課						●	●	●	●	食品等事業者や消費者団体と協力し、食中 毒多発シーズンを前に街頭キャンペ ーンを実施し、広く市民に食中毒への注意喚起 を行っています。	H28.7.4 千里中央駅周辺にて実 施しました。 参加者 1000名	街頭キャンペーンでは、特に食 品衛生に興味を持たない市民 に対しても広く啓発を行うこ とができました。
c 危機管理に対する情報提供と啓発		2 小学1年生向けリーフレッ トの配布	保健所衛生管理課				●					食中毒予防の3原則の周知と、食肉の生食 を避け、十分加熱して食べるよう啓発を行 っています。	H28.6.30 市内公立、私立小学校 の1年生へ配布し、食中毒予防の 啓発を実施しました。 作成数 4,500枚	毎年度、大阪府と連携し、豊中 市内の小学校1年生を対象に 食中毒予防リーフレットの配 布を行い、食品衛生の知識普及 に努めています。	○	

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性		
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	c 危機管理に対する情報提供と啓発	3	食育推進のための安全安心ハンドブックⅡの活用	保健医療課 衛生管理課		●	●	●	●	●	●	●	食中毒を予防し、安全で安心な食育活動を継続的に行っていただくために作成しました。地域のお祭りや、イベントなどで模擬店を出店するとき、調理実習をする時などに活用できます。	内容を一部見直し、改訂版を1,000部作成しました。	食中毒予防及び継続的な食育活動に活用していただけるよう、庁内関係部署や市民へ配布することができました。	○	
		4	インデックス付コンパクトサイズの『防災ガイド』の作成	保健医療課 危機管理課		●	●	●	●	●	●	●	●	自宅だけではなく、近所・遠方にいるときでも一定の災害対応が実施できるよう、「自助」をベースに災害対応をまとめた持ち歩き可能な啓発印刷物を作成しました。災害への備えなどをまとめた「準備編」、災害発生時の対応をまとめた「災害対応編」を掲載しています。	6,000部増刷しました。防災関係の出前講座や訓練などで配布しました。	平成26年度に作成後、毎年増刷を行い、出前講座や訓練時に配布し、啓発を行いました。	○
		5	法人説明会	福祉指導監査課		●	●	●	●	●	●	●	●	食中毒予防のパンフレットを配布することによって、施設における食中毒予防を呼びかけています。	平成28年6月30日実施 74人	施設での食中毒予防についての知識の普及は重要なことだと考えています。施設の職員の意識の向上のために役立っていると思われる。	○
	d 食育推進運動の周知啓発	1	食の育みフォーラム	保健医療課									●	●	食育推進計画の周知のため、市民に身近なテーマでフォーラムを開催しています。	28年度は実施していません。	他課と連携し取り組むことができました。日常の中で食育や健康づくりに自然と取り組むことができるようなきっかけづくりを今後も提供していきたいです。

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28 年度実施状況	5 年間の総合評価 (平成 25~29 年度)	今後の 方向性	
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	d 食育推進運動の周知啓発	2 食育プラスワンシートの作成・配布	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	第 2 期食育推進計画を市民の方に実践していただけるよう、「ほんの少しの取り組みから始めましょう」という思いを込めてプラスワンシートを作成・配布しています。	既存シートや、他課の案内チラシの裏に印刷させていただいたものを合わせて 13,420 枚活用。	シートの内容について他の部局と検討したり、食育や健康づくりに関するシートをチラシの裏に印刷させていただくことで、複数の部署や関連団体と協働して食育事業を実施する環境の整備につながっているほか、関心の薄かった層にも食育という単語を知っていただく機会になりました。	○	
		3 食育プラスワンシートの活用	(一社)豊中市薬剤師会					●	●	●	●	①血糖値が気になる人のためのプラスワンシート ②血圧が気になる人のためのプラスワンシート ③コレステロールが気になる人のためのプラスワンシート ④健康増進のためのプラスワンシート ①~④を市内薬局(薬剤師会会員店舗)を通じて配布しています。	①~④各 50 枚を市内 130 薬局(薬剤師会会員店舗)を通じて配布予定を立てていたものの、費用面の折り合いを再検討する中で実行に至りませんでした。 市民向け無料お薬講演を聴講に来られた市民への配布についても今年度から会場を変更しての実施を開始したこともあり、準備不足の為配布実行に至りませんでした。	市民とのコミュニケーションツールとしても活用できました。 28 年度は実施に至りませんでした。来年以降も引き続き活用する予定です。	○	
		4 「食育月間」「食育の日」の啓発	保健医療課 健康増進課		●	●	●	●	●	●	●	●	毎年 6 月を食育月間、毎月 19 日を食育の日として啓発を行っています。	食育に関する講座の中で食育月間・食育の日の周知を行いました。	食育を啓発することができました。引き続き、市民が食育に関心を持ち取り組みやすくするための取り組みをすすめます。	○
		5 食育コラボ～みんなで は・は・は	読書振興課・図書館			●		●	●	●	●	●	乳幼児向けに歯科衛生士によるお話と図書館職員によるおはなし会を行います。成人向けには口腔機能の講座と関連本の紹介を行います。関連本や絵本の貸出も行い、お口の健康に関する個別相談の時間も設けます。	28 年度は乳幼児向け 5 館と成人向け 2 館で開催しました。乳幼児向けも含めチラシは実施館周辺の歯科医院にも設置をお願いしました。	成人向けについてはチラシ・ポスター・図書館ホームページ・広報などで PR しましたが、参加者数は少なかったです。参加された方のアンケートの満足度は高かったため、今年度も実施したいです。幼児向けは参加も多く、アンケートも好評なので引き続き実施予定です。	○
		6 体育の日の事業	スポーツ振興課			●	●	●	●	●	●	●	体育の日の事業による健康啓発等の実施をしています。	平成 28 年 10 月 10 日に開催。 新体力測定、骨密度測定等を実施。 参加人数 901 人	子どもから高齢者までの幅広い参加があり、スポーツを通じて健康や食育について考える機会となった。このイベントをきっかけに、運動をするきっかけづくりになるよう取り組みを進めます。	◎

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
I 食育に関する情報を正しく理解して、 実際に行動しよう	d 食育推進運動の周知啓発	7 小学生メニューコンテスト	学校教育課 保健医療課				●					小学5・6年生からメニューを募集してコンテストを行い、入賞・入選作品メニューを市の小学校給食献立や食育推進事業に活用しています。	夏休みに実施。3,592人から「栄養バランスがよい」「おいしい」「作りやすい」などの工夫がされたメニューの応募がありました。(入賞6人、入選6人)	夏休みに実施するため、多くの応募があります。 また、受賞作品の学校給食採用、給食日より等での紹介により、学校関係者・保護者に認知されるようになってきており、学校、家庭における食育の推進が可能と考えています。	◎	
		8 学校における「食に関する指導の全体計画」の策定	学校教育課				●					①各校の定める「食に関する指導の全体計画」に基づき指導します。 ②「食に関する指導の手引き」を活用した指導、教科・領域などにおける食に関する指導、給食時間における食に関する指導などを進めています。	①各校の定める食に関する指導の全体計画に基づき指導しました。 ②「食に関する指導の手引き」を活用した指導、教科・領域などにおける食に関する指導などを進めてきました。	各校において、食に関する指導の全体計画を中核とした食育の推進は重要であると考え、全体計画の見直し・改善にむけた指導を今後も進めていきます。	○	
		9 食育目標の作成	こども事業課				●						「豊中市食育推進計画」「改定保育所保育指針」を踏まえた豊中市立こども園の食育目標を作成。	豊中市立こども園の食育目標を基に、各こども園の子どもの実態に即した目標を作成。	食育目標を作成することで見通しをもって活動することができました。	◎
		10 キッズフェスタ	(一財)豊中こども財団				●						親子の触れ合いや遊びの場の提供、幼児教育情報の発信の中で「食」に関する情報の提供をします。	平成27年度から市の補助事業として(一財)豊中こども財団が主催実施。親子のふれあいの場として活用いただけました。	「食」に関する情報の提供の場とはなっていません。	完
		11 子育て総合支援事業「子育て・子育て支援講座」	こども事業課、市立こども園				●						子育てや子どもの成長についての講習会や専門講師による講演や親子ふれあい遊びなどを実施しています。	子育てについての講座を保護者対象に年間通して各園で実施しました。	各園、食育をテーマにした講座や親子ふれあい遊びを取り入れ実施したことが、保護者と共に子どもの健康について考える機会になっています。	△
		12 在園児及び未就園児の保護者向け講演会	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園、 豊中市民間保育園連合会加盟保育園				●						○幼児期の食についての講座を開催しています。 ○給食の試食を行い、その中で、栄養士・教諭が給食の意義・給食で行う指導について説明しています。	年1回、給食参観・給食試食会。栄養士などによる説明があり、意見交換しています。	給食の内容について理解が得られ好評を得ている。	○
		13 バザー	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園				●						産地直送の野菜コーナーを設けています。	実施園あり(4園)	定期的なとりくみになっていませんが好評です。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性
I 食育に関する情報を正しく理解し、実際に行動しよう	d 食育推進運動の周知啓発	14 「食育年間計画」の策定中	市立こども園、豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						幼稚園教育で「食育の年間指導計画」に基づき指導します。	園の実際に即してたてた計画に基づき実施。	毎年見直し。	○
		15 市民健康づくりフォーラム	健康増進課		●	●	●	●	●	●	●	健康づくり推進員及び一般市民を対象に健康に関する情報を伝える講演会を開催しています。	フォーラム会場にて、健診啓発と健診の受付、健康に関するパネル展示を行いました。 フォーラム参加者 130人	フォーラム参加者に対して、健診の啓発を行うとともに、会場での健診受付を行うことは効果的でした。	○
	a 幼少期における望ましい食習慣の形成	1 離乳食講習会	健康増進課			●						離乳食に関する知識・情報の提供 ○会場 千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センター ○回数 前期(ごっくんクラス)・後期(かみかみクラス) 年24回ずつ実施。	ごっくんクラス 実施回数 24回 参加者数 727人 かみかみクラス 実施回数 24回 参加者数 666人	離乳食に関する知識や情報を提供するとともに、保健センターが食に関する相談窓口であることをPRすることができました。	○
II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活	a 幼少期における望ましい食習慣の形成	2 幼児食講座	健康増進課			●						幼児食に関する知識・情報の提供 ○会場 千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センター	実施回数 24回 参加者数 249人	幼年期だけでなく生涯を通じた食生活について啓発する場として、実施することができました。	○
		3 「親と子の遊びのひろば」パンダグループ	こども相談課 子育て支援センター			●						①2,3歳の子どもとその保護者を対象に、人権を尊重した保育を基本に遊び提供・情報提供を行っています。その中で、保護者同士が子育ての楽しさを実感し、悩みを出し合う場をもち、保育所とともに地域の中でつながっていける子育て支援をしています。 ②パンダグループの中で、大勢の子どもとともにこども園の給食経験を行うことで食事の楽しさを感じています。	各地域子育て支援センターで年3クール程度実施	家庭での食事と違い、友達と一緒に食べることが刺激になり、食べることへの意欲や楽しさを体験する機会になりました。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、 バランスのとれた食生活	a 幼少期における望ましい食習慣の形成	4 子育てに関する講座等の開催	こども相談課 子育て支援センター			●						子育て支援センターでは親子・同年齢の子どもと一緒におやつを作り、作る楽しさを実感し、家庭でも親子のふれあう機会として知らせる「おやつ講座」を行っています。また、「センター講座」では子どもの育ちや健康・食育・かわり方について等の話を提供することで、保護者にとっての育児不安の軽減や子育てに関する情報を得る機会としています。	手づくりおやつ講座 年2回	日頃食べないメニューなどを親子でふれあいながら手づくりすることで食への関心を広げ、おいしかった経験をもとに家庭で再度作ったという報告もありました。	○
		5 ほのぼのママ教室	市立豊中病院栄養管理部			●						ほのぼのママ教室の3回シリーズの内1回で「食事バランスガイド」による妊娠中の食品摂取の目安及び、鉄分・カルシウムの不足予防などの理解を深めています。	開催回数 10回。参加人数 65名	最新情報をとりいれた冊子改訂や講義を実施、妊産婦さんが講義時間を快適に過ごせるように環境や時間も見直しを行い、よりリラックスした雰囲気でご妊娠中の食事について知ってもらうことができました。	○
		6 給食・弁当時の指導	市立こども園				●						①食前食後の食事への感謝を指導しています。 ②食べ物を大事にすることを指導しています。 ③食事マナーを指導しています。 ④嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導しています。 ⑤献立に使われた食材について話題にしています。	毎日実施 バランスのとれた食生活やたのしく食事ができるように工夫しました。 食事前の手洗い、うがい実施・歯磨きなどの衛生指導をしました。 配膳の準備等の手伝いを実施 左記に加え、箸の使い方についても指導しました。	食べ物と身体づくりが繋がっていることや自分の食べる量を理解することができました。 仲間と共に楽しく食べ、残さずきれいに食べた時の心地よさを感じることができ、食べ物に興味を持ち、折にふれ季節の食べ物について話をするなど食を話題にする姿がみられました。 偏食が減り食事のマナーが身についています。 管理栄養士と相談しながらアレルギー対応等も行っています。 仲間と一緒に食する環境は子どもの食への興味を増し、又意欲的に食べるようになりました。 給食とお弁当の併用により、親子のコミュニケーションがとれ、食育の柱となっています。

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活	a 幼少期における望ましい食習慣の形成	6 給食・弁当時の指導	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園			●						①食前食後の食事への感謝を指導しています。 ②食べ物を大事にし、残さず食べることを指導しています。 ③食事マナーを指導しています。 ④嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導しています。 ⑤献立に使われた食材について話題にしています。	同左。とりわけ、育てた野菜を食するよろこびを大切にしている園もあります。	食べ物への感謝や食事のマナーなど、今後もいねいに指導していきます。	◎
		7 摂食指導、栄養指導	あゆみ学園、しいの実学園			●						①個々の摂食機能、食事の好みに合わせた食べ方、食べさせ方について、保護者に指導しています。 ②食に関する保護者からの相談にのっています。 ③保護者向けの食に関する講座を開催しています。	随時実施。	園と家庭が連携してこどもの食を支えていくために、重要な役割を果たしていると考えます。	○
		8 給食	市立こども園			●	●						①こどもが、おいしく、安全に、楽しく食事をすることで、心身両面の発育を促しています。 ②季節の行事食を提供しています。 ③給食の配膳を児童が自ら行うように指導しています。	●お味見当番 ●自分でおにぎり ●調理に関わる（野菜の皮むき・すじ取り・ごますり・和え物を仕上げ る・おやつ作り etc） ●食材を見る・触る ●厨房の見学等	食材に触れたり、給食作りに関わり調理の過程を知ることで食材や調理をしてくれた人に親しみが深まり給食に期待感をもってより積極的に食べるようになりました。食べ物に興味をもち「食」を話題にする姿がみられました。
あゆみ学園、しいの実学園				●							①障害特性に応じたメニュー、食形態の給食を提供しています。 ②個々に適した食形態への加工方法、食事介助について、保護者に体験していただいています。 ③共食体験等を通じて、食べることを楽しいと感じる心を育てています。 ④食事マナーを体得する場としています。	毎日実施。	食べる意欲を育むことに加えて、食べる機能の発達、偏食改善の一助にもなっていると考えます。	○	

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	a 幼少期における望ましい食習慣の形成	8 給食	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園			●						①和食中心のメニューを多くしてい ます。 ②食材そのものの美味しさを知るようシ ンプルな調理も取り入れています。 ③希望する園児が、16時のおやつづくりに 参加しています。 ④日常の給食に保護者が参加できる機会 を設けています。 ⑤給食を委託する業者を検討するための 試食会に保護者も参加できるようにして います。	左記を基本に実施。さまざまな味に 親しめるよう旬の食材を使うととも にバランスのとれたメニューを工夫 している。	親子で給食を食べる機会を大 切にし、食への関心を深めてい ます。	◎	
		9 集会時の指導	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園			●						①朝食をゆっくり食べてから登園するよ う指導しています。 ②嫌いなものでも一口食べるよう指導し ています。	朝の会や誕生日会など随時。	くり返し伝えることで理解が 広がってきています。	○	
		10 給食の試食と、給食に関する 講演会	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園			●	●			●			保護者による給食の試食と、栄養士など による講演会を開催しています。	年1回実施。	味・量などのアンケートを行 い、結果を生かしています。	○
		11 保育、教育の中で、調理体験、 イベントなどの取り組み	市立こども園				●	●					①栄養素について学んでいます。 ②調理実習を体験しています。	給食づくりに関わったり菜園活動の 収穫物によるクッキングなど年間を 通じて随時実施。魚の解体見学後に 給食で食べる等。	偏食の改善。食べ物の命を感じ て大切にいただく気持ちが育 まれました。共に経験・共感し 仲間関係が深まり自信につな がりました。	○
豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園					●						季節の果物や野菜について学んでいま す(講師：生産地の農協関係者)。	毎年自園で野菜の栽培。	自分たちの育てた野菜などに 興味をもち、野菜が苦手な子が 食べられるようになりました。	○		

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	b 少年・青年期における食の自立に向けた支援	12 「食」に関する子育て講座	市立こども園(旧保育所)			●						こども園(旧保育所)給食をもとに、幼児食や手作りおやつ、食事の話などの講習を各園の技能職員が行っています。	地域の子育て家庭を対象に各園で1～2回開催。1回20～30組が参加。未就園児の子どもとクッキングをしています。野菜を使ったおやつや昼食づくりを実施しました。	手作りおやつ、食の話などをします。実際のこども園給食を基に行うので理解されやすいと考えます。	○
		13 赤ちゃんサークル「ぴよぴよ」での離乳食講座	市立こども園(旧保育所)			●						こども園(旧保育所)給食をもとに、各園の技能職員が離乳食の講習を行っています。	地域の子育て家庭を対象に各所で1～2回開催。1回10～20組が参加。	実際のこども園給食を基に行うので理解されやすいと考えます。	○
		1 市立障害者通所施設等での給食提供時の指導	障害福祉課						●	●	●		栄養バランスのとれた食事づくりを心がけると共に、保健センターからの歯科保健指導を参考に、個々人の障害に応じた食形態にも配慮しています。	毎日実施	利用者及び家族は毎日の給食を通じて栄養バランスのとれた食事や、食べやすくする工夫を実感することができると共に食事摂取量が改善されました。平成29年度よりみのり園が民営化、たちばな園が指定管理者制度の導入をしたことに伴い、事業完了しました。
		2 市立障害者通所施設等での給食提供時における情報提供	障害福祉課					●	●	●		専門職員が個々の利用者の障害に応じた食事介助工夫をすると共に、その内容を家族に情報提供することで、摂取する食材や食事を楽しむことができる場面の多様化を促しています。	毎日実施	家庭と施設の連携で個々の利用者の障害に応じたより良い対応を実施し、食を通じた健康づくり、楽しみづくりを実現しました。平成29年度よりみのり園が民営化、たちばな園が指定管理者制度の導入をしたことに伴い、事業完了しました。	完
		3 市立障害者通所施設等での給食の提供	障害福祉課					●	●	●		①おいしく、安全に、仲間と楽しく食事をする場を提供しています。 ②季節の行事食を提供しています。	毎日実施	仲間と共に季節感のある食事をとることで、心豊かな生活につながったと考えられます。平成29年度よりみのり園が民営化、たちばな園が指定管理者制度の導入をしたことに伴い、事業完了しました。	完

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	b 少年・青年期における食の自立に向けた支援	4 市立障害者通所施設等での調理体験	障害福祉課					●	●	●		通所者が調理実習を体験しています。	給食材料や、収穫体験での収穫物などによるクッキングを随時実施	実際に調理に関わることで食に関心を持つことができました。平成29年度よりみのり園が民営化、たちばな園が指定管理者制度の導入をしたことに伴い、事業完了しました。	完
		5 子どもの居場所づくり文化クラブ「クッキング」わくわく講座(月例講座)「親子クッキング」「お菓子づくり」	児童生徒課 (少年文化館)				●		●	●		提案公募型委託事業として特定非営利活動法人北摂こども文化協会に事業委託。市内在住の児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りおやつや食事の話などの講習及び調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。また、「親子クッキング」では料理を通じて親子のコミュニケーションを図ることを目的として実施しています。	「クッキング」実施回数 26回 延べ参加者数 287人。 「親子クッキング」実施回数 10回 延べ参加者数 149人。 「お菓子づくり」実施回数 7回 延べ参加者数 84人。	料理に関する企画については、安定した市民ニーズがあり、多くの児童生徒がこれらの講座を介して「食」についての関心を高めることができました。また、親子クッキングでは、料理を通じて親子のコミュニケーションを図る場を提供することができ、参加者が増えました。	○
		6 一年生給食開始事前指導	学校給食課				●					新1年生の給食開始前に児童の給食への関心を高めるため、学校給食を担当する栄養士・調理員が訪問を行っている学校もあります。	小学校 37校で実施	学校給食への理解を深めるため実施しています。	○
		7 給食の試食と、給食に関する講演会	学校給食課、 各小学校PTA				●			●		保護者による給食の試食と、栄養教諭などによる講演会を開催しています。	小学校 39校で実施	食への関心を高めることと学校給食への理解を深めることを目的に、実施しています。	◎
		8 学校給食週間	学校給食課				●					「全国学校給食週間」と定められた1月24日～30日に、各地の郷土料理や世界の料理などを取り入れた特別の献立を出すことにより、改めて食に感謝する気持ちや食の大切さを考える取組みを行っています。	全小学校 41校で実施	学校給食の意義や役割について児童や教職員、保護者、地域住民の理解と関心を深めるため実施しています。	◎
		9 児童の社会見学の受け入れ	学校給食課				●					学校調理員、栄養教諭との交流を深め、給食ができるまでを見学することで関心を高めています。	小学校 4校を受入れ	給食への理解と食への関心を深めてもらうことを目的として実施しています。	◎

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の方向性	
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	b 少年・青年期における食の自立に向けた支援	10 学校給食センター職員による学校訪問	学校給食課				●					学校給食センター職員が市内の公立小学校を訪問し、児童を対象に給食の話をしたり一緒に給食を食べたりすることで、交流を図っています。	訪問小学校数・・・29校（131クラス・4229名） 実施回数・・・39回	給食を作っている職員の思いを伝え、また子どもの給食への思いを聞くことで、給食の工夫・改善につながると考えます。また、食べ物への関心を高める機会となっているほか、お互いの交流を図る機会にもなっています。	◎	
		11 小・中学校における指導体制の充実	学校教育課				●					順次配置されている栄養教諭などを中心に食育を推進するとともに、教職員を対象にした食育に関する研修会を開催するなど食育の重要性に対する教職員の意識を高め、理解を深めるよう取り組みます。	栄養教諭などを中心に食育を促進するとともに、教育センターと連携し教職員（栄養教諭・学校栄養職員含む）の研修会を実施する等、食育の重要性について教職員の意識を高め、理解を深めるように取り組んできました。	栄養教諭・学校栄養職員は、食育の推進に大変重要な役割を担っています。研修会の実施により、食育に関する市の現状や今日的課題についての認識を深めることができ、今後の指導体制の充実に向けて効果的であったと考えます。	○	
		12 (仮称)豊中市新学校給食センターの整備(原田・服部学校給食センターの建替)	学校給食課				●					安心、安全なおいしい給食を提供し、また学校給食に関する情報を発信する機能を備えた(仮称)新第2学校給食センターの整備をめざす。				
		13 給食センター食育イベント	学校給食課(環境部)				●			●			幼年期の子どもと保護者に給食センターでの施設見学、また食育の取り組みでの学校給食の大切さと、環境部から食品ロス削減の意識を高めてもらう講座を行いました。	パワーポイントを使用し、給食センターでの工夫した食育の取り組みを説明。給食の試食。環境部から絵本の読み聞かせ等を行いました。	給食調理の現場見学や絵本の読み聞かせを通じて、給食を身近に感じてもらい、食生活の大切さを感じてもらうことができました。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	c 健康状態にあった食育の推進	1 グループホームからの栄養相談	障害福祉課					●	●	●	●	障害者が共同生活を行う住居での食生活に関する相談にのっています。	随時実施。	個々の民間事業所では、スタッフに管理栄養士を加えることは難しいので、市の専門職が支援しました。平成29年度よりみのり園が民営化、たちばな園が指定管理者制度の導入をしたことに伴い、事業完了しました。	完	
		2 介護予防教室	高齢者支援課								●	二次予防対象者（要支援・要介護状態等となるおそれの高い、虚弱な状態にあると認められる65歳以上の者）を対象に「運動器の機能向上」「口腔機能向上」「認知症予防・支援」等の介護予防教室を開催しています。	いきいき元気教室（介護予防教室）で高齢期における低栄養改善の講話・食に関するアドバイス等を実施しています。 運動教室：9クール 144人 お口元気教室：4クール 30人 脳力アップ塾：4クール 32人	各教室にて、高齢者向けの低栄養予防の講話を実施し、口腔機能の維持を行ったり健やかな高齢期を過ごせるように食に関するアドバイスも実施し、総合的な介護予防に取り組んでいます。	完	
		3 アレルギー講演会	健康増進課			●	●	●	●				専門医師がぜん息・アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患について講話を行っています。また必要に応じ保健指導を行っています。	4回開催、参加者数延119人	講話を行うことで、正しい知識の普及に努めました。	○
		4 両親教室	健康増進課		●								初妊婦とそのパートナーを対象に、沐浴実習、妊婦体験、各種サービスの紹介等を行っています。隔月に1回。土曜日の午前・午後に実施しています。（大阪府助産師会に委託、男女共同参画推進センターと共催で実施）	12回開催、参加者数延1,116人(564組)	初産婦とそのパートナーを対象に妊娠・出産・育児の基礎知識を普及する場になっています。	◎
		5 マタニティークラス	健康増進課		*●								妊娠中の過ごし方について助産師・歯科衛生士・栄養士が講話と実習をします	12回 135人	妊娠をきっかけに家族の健康づくりを考える機会になります。	◎
		6 妊婦教室「カンガルークラス」	健康増進課		●								栄養士による、妊娠期からの食生活・栄養についての講話。	27年度で終了	妊娠期だけでなく生涯を通じた食生活について啓発する場として、実施することができました。	完
		7 マタニティークッキング	健康増進課		●								妊娠中の食事と離乳食についての簡単な調理実習と試食。	実施回数 6回、参加者数 76人	妊娠中の食事だけでなく、離乳食も作れる講座として好評でした。	○
		8 メタボ撃退お料理教室	健康増進課							●	●	●	メタボリックシンドロームなど生活習慣病予防に焦点をあてた調理実習。	1回 6人	簡単に作れるメニューで好評でした。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性		
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	c 健康状態にあった食育の推進	9 地区健康教室・介護教室（出前健康教室）	健康増進課							●	●	●	健康教室 210回 延7,267人	生活習慣病などをテーマとした健康教育を行いました。食に関する情報を発信する場として、広く活用しています。	○		
		10 「無理しないカラダづくり講座」	健康増進課							●	●	●	4回 延61人	メタボリックシンドロームに焦点を当てた講座で、運動体験や管理栄養士による食事診断など内容の変更を行いました。29年度より講座は終了し、今後その他の事業において個別に指導を行います。	完		
		11 生活習慣改善講座（面接型）	健康増進課							●	●	●	面接57回 延62人 血液検査22人	個別の指導により、生活習慣病の改善・予防を行いました。特定保健指導の場にもなっています。参加者自らが行動変容できるように支援しました。なお改善結果の評価のため血液検査を実施しています。29年度よりスポーツクラブ等の業者に業務委託し続けます。	○		
		12 創造活動（適応指導教室）プログラム「クッキング」	児童生徒課 （少年文化館）					●						不登校児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りご飯や食事の話などの講習及び野菜の栽培、自家栽培による収穫物を使っての調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。	庄内館は第1・3・5水曜 千里館は第1・3金曜に実施	不登校状態の児童生徒が文化館に登館し、「クッキング」というツールを介して人間関係を繋いでいます。また、「食」について考えることから自分自身の生活を振り返る機会にもなっています。	○
		13 寄り添い型学習・生活支援事業 生活自立支援プログラム「クッキング」	児童生徒課 （少年文化館）					●	●					不登校状況や、ひきこもり状況にある中3～高校年齢相当の若者を対象に、専門講師が手作りご飯や食事の話などの講習及び野菜の栽培、自家栽培による収穫物を使っての調理など、食を営む基礎を育てています。	平成27年度から「生活困窮者自立支援法」の趣旨に基づく、経済的等の困難を抱える中学生に対しての自学自習力をはぐくむ場所の提供に変更したため、クッキングプログラムは実施せず。	—	

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
Ⅱ 生活リズムを整え、 バランスのとれた食生活を実現しよう	c 健康状態にあつた食育の推進	14 公民館活動への支援	中央公民館、 蛸池公民館、 庄内公民館、 千里公民館		●	●	●	●	●	●	●	公民館による春秋講座運営に際して、 情報提供や指導助言を行っています。	【刀根山公民分館】 ・そば打ち&スイーツ作り（参加者 48人） 【中豊島公民分館】 ・レッツアウトドアクッキング（参 加者27人） 【東丘公民分館】 ・チョコレートの産地や製造方法を 知る（参加者26人） 【西丘公民分館】 ・和と洋の料理教室 簡単にできるお うちごはん（30人） 【東泉丘公民分館】 ・抹茶体験（参加者 春・秋合わせて 29人） ・アウトドアクッキング（参加者10 人）	各公民分館において春・秋の2 回講座を実施しており、食育に 限らず様々なテーマで企画さ れ、地域における学習の場の提 供に努めることができた。今後 も継続して公民館講座の実 施に係る支援を行ってきたい。	○	
		15 糖尿病教室	市立豊中病院栄養管 理部				●	●	●	●	●	糖尿病教室の7回シリーズの内2回で 「糖尿病食事療法：基礎編」「糖尿病食 事療法：応用編」を開催しています。	開催回数 50回。参加人数 310名	最新情報を反映させた冊子改 訂を行い、毎月行う担当者会議 で振り返りを行い、患者さん のご意見も反映させながらより 充実した内容で開催を重ねる ことができました。	○	
		16 慢性腎臓病教室	市立豊中病院栄養管 理部					●	●	●	●	●	慢性腎臓病教室の4回シリーズの内2回 で「慢性腎臓病の食事療法の実際：総論」 「慢性腎臓病の食事療法の実際：各論」 を開催しています。	開催回数 6回。参加人数 44名	患者アンケートを実施し毎回 おおむね良好。医師と管理栄養 士の講義を聞くことができる ため、動機づけや意義を強化で きる教室にすることができま した。	○
		17 心臓病教室	市立豊中病院栄養管 理部						●	●	●	●	心臓病教室の2回シリーズの内1回で 「心臓病の食事について」を開催してい ます。	開催回数12回 参加人数85人	管理栄養士からは食事の講義 を、そして他職種からも療養に 必要な講義をうけていただく ことができるので、2回で患者 さんの療養意識を高める機会 をつくることができました。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	c 健康状態にあった食育の推進	18 とよなか倶楽部（糖尿病患者の会）	市立豊中病院栄養管理部				●	●	●	●	●	糖尿病患者の会の一活動として、糖尿病食の講習及び調理実習を行い、糖尿病食への理解を深めています。	開催回数 1回 参加人数 25人	自宅で簡単につくることができ、おいしいメニューを考案、多職種で患者さんに調理講習を行いました。様々な医療職種とコミュニケーションをとっていただきながら患者さん同士の交流も深めることができ、療養のモチベーションUPの場とすることができました。	○	
		19 糖尿病透析予防管理指導	市立豊中病院栄養管理部						●	●	●	●	糖尿病腎症の患者さんに対し、透析導入を予防するために医師・看護師と共にチーム医療で患者さんの指導にあたっています。	指導人数 15名	月1回、多職種連携で透析予防のための重点的な指導を行い、患者さんが必要な治療を1日で凝縮して受けることができ、療養意識を高める機会をつくることができました。	○
		20 内臓脂肪測定会	健康増進課							●	●	●	内臓脂肪を実際に測定し保健師による結果説明会を行うことでメタボリックシンドロームの予防・解消、生活習慣病の改善につなげています。	25回 延345人	開催会場を1会場から3会場に増やし開催しました。28年度は休日開催(2日)を行いました。29年度より測定会は終了し、今後その他の事業において個別に測定を実施します。	完
		21 糖尿病性腎症重症化予防事業	健康増進課	*							●	●	Ⅱ型糖尿病で糖尿病性腎症病期3～4期の対象に新規透析に至らないよう病態を維持、改善できるよう主治医の指示の下、栄養指導を主とした生活習慣改善指導や療養支援を実施しています。	対象者 15人 延面接指導 50人 延訪問指導 47人	平成29年度は対象者を拡大し実施、第2期データヘルス計画（平成30年～35年度）で継続実施及び評価を予定しています。	◎
		22 難病患者療養生活支援	保健予防課		●	●	●	●	●	●	●	●	難病患者の在宅療養生活の質の向上のために保健師や栄養士等が相談に応じています。	訪問、面接、電話で相談に応じています。 相談件数 延3,982件	医療費助成の申請手続きの機会を利用した相談やその後の療養相談を通じて、患者の状況に応じた支援とニーズ把握を行いました。今後もよりよい相談体制づくりに取り組みます。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、 バランスのとれた食生活を実現しよう	d 調理技術や食に関する知識の習得	1 出前講座	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	市民(団体)や学校等が主催する、食育や生活習慣病の予防(食事編)に関する講座に、講師(市職員)を派遣しています。申込制。	年間講座実施数 195件、参加者数 7,652人 うち食育関係テーマ3件、参加者数 353人	継続して市民の参加を呼び掛けます。	○
		2 地域への食育推進	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	食育への理解が進むよう、食育情報の提供や講師紹介、講師派遣を行っています。	地域に食育が浸透するよう、情報提供を行いました。また、食育推進協議会や食育推進計画連絡会議において積極的に意見交換を行うことで、食育の取り組みに必要な情報を確認し提供しました。	食生活を見直す場を提供することができました。また会議については、関係各課や各団体などが食育に取り組みやすい環境づくりに役立つと考えています。	○
		3 出前教室	上下水道局経営企画課				●					小学4年生及びその保護者を対象に、水道水ができるまでの過程や、各家庭に水道水が配られる仕組みなどを、簡単な実験を行いながら説明します。食の原点となる「水」への関心を深め、水道水が安全な飲み物であることを理解してもらうことがねらいです。	実施校数 38校 参加者数 児童・・・3,241人 保護者・・・41人	食の原点である「水」への関心を持ち、水道水が安心安全であることを、児童保護者に理解してもらうことができました。市内全校で実施できるよう今後も取り組んでいきます。	◎
		4 中央公民館 健康づくり推進事業	中央公民館			●	●	●	●	●	●	食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。	年間1回 ・おやかでクッキング～ガーデニング野菜でサラダづくり～(参加者19人)	子どもの食育について継続的に事業を実施することができた。平成27年度より事業分類の見直しを行い、食育推進事業が健康づくり推進事業へ吸収される形となったが、今後も公民館が取り組むべき課題を勘案し事業を行っていきたい。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性
Ⅱ	d 調理技術や食に関する知識の習得	5 蛸池公民館 健康づくり推進事業	蛸池公民館			●	●	●	●	●	●	食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。	年間5回 ・アフガニスタンを食べよう（参加者21人） ・アルジェリアを食べよう（参加者17人） ・バルト3国の一つ「エストニア」を食べよう（参加者20人） ・子ども料理教室「タコス作りとメキシコのお話」（参加者8人） ・子ども料理教室「フルーツケーキ作りとイギリスのお話」（参加者20人）	各講座を通して食に対する関心が高まった。各国の風土や歴史を知り特産物を使っての料理や参加者間の交流を大事に取り組んできた事で食に対する関心が高まった。 平成27年度より事業分類を見直し、食育推進事業が健康づくり推進事業へ吸収される形となったが、今後も公民館が取り組むべき課題を勘案し事業を行っていききたい。	○
		6 庄内公民館 健康づくり推進事業	庄内公民館			●	●	●	●	●	●	食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。	年間1回 ・はじめての料理教室 自分で作ろう 屋ごはん（参加者44人）	主に子育て・子育て事業と連携しながら実施している。今後も地域の課題に応じた企画・運営を行う予定。	○
		7 千里公民館 健康づくり推進事業	千里公民館			●	●	●	●	●	●	●	食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。	実施なし。	平成25年度は災害時の食の備えの必要性を学び、備蓄食材を効率よく使って、美味しく簡単に食べる方法を実習した。 平成26年度カルシウムを強化する調理をすることで減塩にもつながる調理方法を学んだ。 今後も公民館が取り組むべき課題を勘案し事業を行っていききたい。

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、 バランスのとれた食生活を実現しよう	d 調理技術や食に関する知識の習得	8 男の生活力養成講座	人権政策課								● ●	(指定管理者(一財)とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 父親と子どもの料理教室を開催しています。親子と一緒に料理をつくることで料理の楽しさと健康への関心を深め、男性の育児参加、家事参加を呼びかけます。	父親の育児参加を支援する「両親教室」を健康増進課と共催で実施。 ・実施回数：12回 ・参加者：1128人(男性564人)	男性、父子を対象にした料理教室、男性を対象にした育児、介護参加をテーマに講座実施を検討します。	○
		9 男の料理教室	人権政策課			●					● ● ●	(指定管理者(一財)とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 父親と子どもの料理教室を開催しています。親子と一緒に料理をつくることで料理の楽しさと健康への関心を深め、男性の育児参加、家事参加を呼びかけます。	検討はしましたが実施に至りませんでした。	男性、父子を対象にした、料理教室をテーマに講座実施を検討します。	○
		10 男性の料理教室	豊中市社会福祉協議会								● ● ●	(CSW配置事業(市補助事業)の1つとして実施) 男性の食育や自立を目的に実施しています。	2回/参加者数31人	継続実施	○
		11 食育に関する講習会	老人クラブ連合会									●	(団体自主事業) 講師を招いて講習会を開催し、食育に関して学ぶ機会をつくっています。	実施していない	連合会事業として、検討重ね実施していきたい

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性		
Ⅱ	d	12	料理教室	老人クラブ連合会								●	(団体自主事業) 高齢者対象の料理教室を老人会各地区で実施しています。	単位老人クラブにて実施している	今後は拡充していきたい	○	
		13	各種の食に関する講座	豊中地域活動栄養士会 トゥデイ			●	●	●	●	●	●	●	様々な年代を対象にした食に関する講座を通して、健康づくりの支援と食に関する情報提供を行い、食育を推進しています。	28年度は実施していません。	幅広い年齢層への食育の推進ができました。本当はもっと皆様の役に立ちたいと思いますが、少人数の会員のためなかなか思うように活動出来ないのが実情です。	△
		14	料理教室	くらし支援課							●	●	●	とよなか消費者協会に委託し、豊中商工会議所・豊中市小売商業団体連合会事務局の協力を得て、料理講習会を開催しています。	①28年8月22日(月)「夏休み親子クッキング」大学生から食育クイズを学び、夏野菜ピザ・トマトとツナの洋風そうめん・きらきらクラッシュゼリーをつくりました。ピザは生地作りから挑戦しました。 ②29年3月13日(月)「春の料理教室 旬の食材で和食づくり」春キャベツの和え物・飛鳥汁(奈良)・チキン南蛮(宮崎)・ごはん(ゆめピリカ)・いちご大福を作りました。	食育クイズを交えて料理作りの楽しさを学ぶことができました。また、日本伝統の輪即料理を楽しく学ぶことができました。	○
		15	料理教室	くらし支援課							●	●	●	とよなか消費者協会に委託し、豊中地域活動栄養士会トゥデイの協力を得て、料理講習会を開催しています。	29年2月13日(月)「バランスのよい幼児食」で料理講習会を開催しました。料理は中華おこわ・豆腐スープ・切り干し大根の酢の物・きな粉蒸しパンです。	幼児の発育のためのバランスのよい料理を学ぶことができました。	○
		16	連合豊中地区メーデー リサイクルバザー	連合豊中地区協議会 豊中市職員組合			●							連合豊中地区メーデー主催のイベントにおいて、構成組織の豊中市職員組合が公立保育所で提供しているおやつの実演・提供を実施。併せて提供おやつを含めて数種類のそのレシピを記載した印刷物の配布。	4月29日(金・祝)豊島公園多目的広場で実施。おやつ(おからドーナツ)を約300食提供。印刷物は、70部を配布。	今年も多くの子供さんを連れた地域住民の参加があり、公立保育所で実際に職員が調理・提供している安全なおやつとして好評でした。希望する保護者向けには、家庭でも作れるようにレシピを配布するとともに調理方法も伝えました。 例年楽しみにしているとの声掛けもいただき、取り組みを続けたいと予定しています。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性
II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	e 適切な食を提供するための環境整備	1 特定給食講演会	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	<p>大阪府域の特定給食施設およびそれに準ずる施設のスタッフ（管理栄養士・栄養士・調理師等の給食関係者）や、大阪府栄養士会会員等約800名を対象に、年2回、府内の市町村等が合同で講演会を実施しています。</p> <p>主催：大阪府・大阪市・堺市・豊中市・高槻市・枚方市・東大阪市・大阪府立大学21世紀化学研究機構「公衆栄養実践研究センター」・大阪府栄養士会</p> <p>会場：枚方市市民会館 大ホール</p>	<p>◆特定給食講演会Ⅰ 平成28年12月16日（金）開催。豊中市からは28施設29名が参加しました。 ・講演：「3つのキーワードで考える摂食・嚥下リハビリテーション」（（一社）TOUCH代表理事 館村卓氏） ・事例：「やわらか食へのチャレンジ」（特別養護老人ホームフィオーレ南海 管理栄養士 岩本恵美氏） ・講演「平成27年度大阪版健康・栄養調査結果から」（大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究所 黒川通典氏）</p> <p>◆特定給食講演会Ⅱ 平成28年12月7日（水）開催。豊中市からは17施設17人が参加しました。 ・講演：「精神栄養学」（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第三部 部長 功刀浩氏） ・講演：「平成27年度大阪版健康・栄養調査結果から」（大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究所 黒川通典氏）</p>	<p>特定給食施設における給食は、給食利用者の健康づくりに大きく影響を及ぼすことから、適正な給食の提供と栄養管理が行えるよう給食担当者の資質の向上等を図ることは重要と考えます。</p>	○
		2 特定給食施設等研修会	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	●	<p>市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設のスタッフ（施設管理者・管理栄養士/栄養士・調理師等）を対象に、年2回程度研修会を実施しています。</p>	<p>◆食中毒予防に関する研修会 平成28年5月17日（火） 講演「食中毒予防」（市保健所衛生管理課 食品衛生係 食品衛生監視員） 参加：82施設99人</p>	<p>食中毒予防に関する研修会は、給食施設における安心安全な給食の提供に役立てていただいています。 乳幼児対象施設研修会は、私立幼稚園連合会、民間保育園連合会、認定こども園協議会との共催で行いました。要望の多かった栄養管理の基礎をテーマに実施し、情報交換も含め大変充実したものとなりました。 今後も対象者のニーズに合った研修会を開催していきます。</p>

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
II 生活リズムを整え、 バランスのとれた食生活を実現しよう	e 適切な食を提供する ための環境整備	3 給食施設への食育推進支援	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	食育に関する情報を提供するなどとして給食施設における食育推進を支援しています。	特定給食施設等に対するメール情報配信「給食通信」などで食育に関する情報を提供しました。特定給食施設の喫食者に対する健康づくりの取り組みに対する支援を行いました。	特定多数に対して継続的に食事を提供する施設へ食育情報を提供することで、効率的な食育推進を行うことができました。	○	
		4 健康づくり推進委員会への支援	健康増進課		●	●	●	●	●	●	●	活動への交付金の支払、講師派遣、活動情報の提供などを行っています。	7校区にて食育に関する健康教室を実施。また各イベントへの出展の際、健康づくりの視点より食に関するチラシの配布やパネル掲示を行いました。また、健康教室なども地域で開催。	地域への啓発にあたって有効であり、また今後の健康づくりの観点から食育の啓発を実施していけるよう支援します。	○	
		5 子育てサークルの育成	こども相談課 子育て支援センター			●							「ほっぺクラブ」は地域の人材を活用し子育てボランティアの育成・支援を行い、その力を地域に広げています。	オリーブの会 12回 えくぼの会 12回	オリーブの会によるおやつ講座を開催し、親子で食育に関心を持つ機会になりました。	○
		6 子育て・子育てネットワークづくり	こども相談課 子育て支援センター				●						地域子育て支援センター、地域支援保育士が中心になってコミュニティソーシャルワーカーとともに各小学校区の地域活動を支援するために、関係機関や団体との連携を図りネットワークづくりを進めています。	全小学校区で開催しました。	ネットワーク作りの会議が積み重なっているため、子育て支援の課題が各関係機関の中で共有され、支援強化につながっています。	○
		7 公民館登録グループ活動支援	中央公民館、 蛸池公民館、 庄内公民館、 千里公民館					●	●	●	●	●	①料理グループなどに活動場所の確保を行っています。 ②グループ活動成果の社会還元として、グループ体験講習会への支援および公民館講座への講師登用を行っています。	料理活動に取り組む登録グループが行う実践活動に対する支援を行いました。	登録グループの料理活動の場を提供することで、市民活動の支援を行うことができた。今後も継続していきたい。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、 バランスのとれた食生活を実現しよう	e 適切な食を提供するための環境整備	8 技能員研修会	こども事業課			●						平成27年度までは、こども園(旧保育所)・あゆみ学園・しいの実学園の技能職員と担当こども園長及びこども事業課栄養士と障害福祉課栄養士で、給食作りを中心に食育と給食の衛生を考えます。教育・保育における子どもの安全と環境整備を考え、環境保全・食育に関わる研究の推進を図っています。	「食育」「環境整備」「地域支援」をテーマとし、3つのグループに分かれる。こども園・施設ごとに年間計画をたて実施後、現状の把握、反省、新たな課題を4期に分けて活動し、その都度集約して記録しています。平成28年度から研修として実施しました。	それぞれのこども園・施設では教育・保育の中に技能職員がどのように関わっているか情報共有することができました。	○
		9 職員への教育	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園			●						職員が終礼時に、給食献立に関連する栄養・文化・歴史等について調べ発表しています。	園内研修や会議などで栽培の方法や調理について情報交換をしています。	継続実施。	○
		10 男女共同参画推進活動への支援	人権政策課			●		●	●	●	●	(指定管理者(一財)とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) グループ・団体活動の情報収集・提供、自主グループ活動育成・支援、グループ活動活性化のための講座の開催、すてっぷ登録団体助成金交付、グループ活動リーダー養成、ワークスペース・機器等の提供、交流ネットワークの機会提供、ネットワーク協議会の組織化などを行っています。	一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター主催の「料理を通じたリビングライブラリー」の実施を協賛事業として支援。 ・事業回数：1回 ・参加者数：15人	登録団体実施事業、登録団体助成金事業、協賛事業、後援事業で、男女共同参画につながる食育講座を実施する市民団体を支援します。	○
		11 豊中市学校歯科医会 研修会	豊中市学校歯科医会			●	●						幼・少年期のさらなる健康増進に寄与するため、学校歯科医師が学校保健活動でより良い指導・助言を行うのに必要な研修を行っている。	豊中市健康福祉部保健所健康増進課副主幹(管理栄養士)の池上益世氏を講師としてお招きし、「歯と口の健康が支える食育の推進」をテーマに研修会を開催した。	校医以外に教育委員会職員にも受講頂き、熱心な質疑応答が行われた。今後も引き続き実施していきたい。

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう	a 交流を深める場や食事をする機会の提供	1 お菓子づくり教室	豊中人権まちづくりセンター				●					食育に関し季節にあった食材を使いながらお菓子をつくり、調理の楽しみを体験しています。また、グループの参加者がお互いに協力しあって作業をすることでつながりづくりのきっかけとしています。	からだによいもの、季節のものを意識して、材料を用意し、お菓子を作りました。また、講師には、素材について解説してもらい、栄養についても知る機会になりました。 実施回数 8回 参加者数 132人	からだによいお菓子を意識し、素材の栄養を学ぶとともに旬のものを取り入れる工夫なども大切にすすめています。	○	
		2 ささえあい参加型食事会	豊中人権まちづくりセンター							●	●	食事環境等に課題のあると思われる高齢者を対象に、毎月第二・第四金曜日に定期的な「会食会」として行っています。センター内にある調理室で作った昼食を食べながら話をすることで、高齢者の健康管理や悩み相談にもつなげています。	実施回数 18回 参加者数 688人	食事の提供だけではなく、外出して同年代の人々と会食するため、とじこもり防止や安否確認にもつながり、また、生活相談事業にもつなげています。	○	
		3 小学生料理教室	螢池人権まちづくりセンター				●						自らの体を作る食事に興味や関心を持ち、自ら関わりを持てるよう、自分で行える調理の楽しみを体験しています。異年齢で協力して行うことで交流を深めています。	実施回数：7回 参加者数：69人	経験を重ねる中で次に作りたいものを自分たちで考えたり、異年齢の中で教えたり教わったりする姿も増えています。	○
		4 男女共同参画推進、女性の自立支援	人権政策課						●	●			(指定管理者(一財)とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 生きづらさ、働きづらさを感じている人を対象に、料理をつくる共同作業をおして達成感と自信を養い、交流を図ります。	「働く女性のスキルアップ講座 part3 子ども料理教室+ママヨガ講座」を実施。 母(シングルマザー優先)と子(小学1～4年生対象)で、母がヨガレッスンを受けている間に、子どもが料理を作り、最後に子どもと母が子どもの作った料理を食べながら交流。 ・実施回数：1回 ・参加者：25人(子ども13人)	シングルマザーと子どもを対象にした料理づくりの講座を検討します。 人間関係がしんどい若年女性を対象にしたクッキングセラピーの実施を検討します。	○
		5 保育、教育の中で交流体験機会の提供	市立こども園、こども事業課			●	●						①野菜や稲の栽培、収穫物による調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。 ②もちつき等の季節行事を催しています。 ③保護者に、実施状況を報告したり、参加・協力の場を設けることで、家庭への情報発信及び食文化の伝達や交流を行っています。	随時実施	食に関わる様々な体験を共有することで親子の会話も食に関する話題が多くなり、家庭においても「食」への理解が深まりました。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう	a 交流を深める場や食事をする機会の提供	6 世代間交流	豊中市社会福祉協議会		●	●	●	●	●	●	●	(市補助事業) 世代をつなぐ学習や交流を促進する場。いも掘り、もちつき、料理教室等を通して食文化の伝達と交流を行うプログラムを実施しています。	38校区 150回/36,034人	継続実施	○	
		7 ひとり暮らし高齢者の会食会	豊中市社会福祉協議会								●	(団体自主事業) みんなで会食をすることで、孤立感を防ぎ、仲間作りを行っています。	38校区 346回 10,987人	継続実施	○	
		8 ミニデイサービス	豊中市社会福祉協議会									●	(市補助事業) 虚弱高齢者を対象に手作りミニデイサービスを実施しています。食育に関する相談も行っています。	5校区 83回 1,285人	継続実施	○
		9 小学校との交流	老人クラブ連合会				●					●	(団体自主事業) 蛍池小学校花壇に野菜や花を植えて学習の教材として提供しています。じゃがいも、さつまいも掘りを児童の皆様にしていただいています。毎年8月には「終戦記念日」前後に当時をしのいで「すいとん」を作り、500人分を用意します。中身のなす、じゅうはちささげ、ねぎ等は学校花壇の畑で出来た野菜を使用します。	実施していない	当面は事情により中止。意義のある事業なので継続していきたい。	○
	b 楽しい食事の促進	1 地域教育協議会 (すこやかネット)	生涯学習課		●	●	●	●	●	●	●	(市補助事業) 市内全中学校区に地域教育協議会を設置し、各校区でフェスタや子育て講演会、学校教育への支援など、学校・家庭・地域のネットワークを深める事業展開を行い、地域教育の活性化を図ります。	各校区の事業に、のべ24,629人の参加がありました。	フェスタで食べ物の模擬店を出店した校区もありました。	○	
		2 地域子ども教室	生涯学習課				●		●	●	●	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行います。放課後子ども総合プランに基づき、放課後こどもクラブと連携し、子どもの居場所づくりの充実に取り組みます。	のべ2,155回実施、96,860人の子どもの参加がありました。	子どもたちが地域の大人から、料理やもちつきなどを学ぶ機会を持った校区もありました。	○	

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28 年度実施状況	5 年間の総合評価 (平成 25～29 年度)	今後の 方向性
Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう	b 楽しい食事の促進	3 青少年自然の家主催事業（宿泊事業）	生涯学習課			●	●	●	●	●	●	市内の青少年を対象に、自然とのふれあい、人とのふれあいを通じて、自主性、協調性、創造性を養い、友情を培う場とします。（指定管理者に委託実施）	主に小学生や、家族グループを対象とした野外活動の中で、薪や炭を使った野外炊事や、季節感を持ったメニューの提供に取り組みました。 対象別・実施内容（参加人数） ○少年期 ジュニアサマーキャンプ（37人）、サイエンスキャンプ（59人）、キャンプスクール（77人）、わっぱるキッズ（夏59人 冬82人）、わっぱる探検隊、里山のクリスマス（80人） ○家族・グループ等 里山フェスタ（春295人、冬174人）、風天クラブ（29人）、星空まつり（125人）、わっぱるの森をつくろう（23人） ○青年期 ユースチャレンジキャンプ（12人）	<ul style="list-style-type: none"> ■夏にアイスクリームの手作り、冬にたき火で焼いもなど、季節感のクッキングプログラムを実施。 また、こんにやく作りやみそ作りなど、作る過程楽しむプログラムを実施しました。 ■施設の畑では「サツマイモ」の栽培を行い、定期的な畑の世話をよびかけ初夏の苗付けから秋の収穫までの過程で、作物を育てる苦労の多さを知ってもらうことができました。 	○
		4 三世代交流事業	生涯学習課			●	●	●	●	●	●	委託先である NPO 法人シニア自然大学の講師の指導のもと、野外活動施設で料理や工作を行いながら、異世代の交流を促進する。	参加人数 ①春の野原は楽しいな（24人） ②初夏の里山で昆虫と遊ぼう（30人） ③みんなで楽しく川遊び（43人） ④秋空のもとでみんなで遊ぼう（45人）	野草を使った料理などを多世代で行うことで、世代を超えた食育が行われている。（当該事業は平成 28 年度で終了）	—
		5 体験型食育推進事業 「わくわく食育プロジェクト」	学校教育課			●	●						わくわく食育プロジェクト 「園小連携親子料理教室」 「小学生親子料理教室」 「中学生食育教室」の開催	わくわく食育プロジェクト 「小学生親子料理教室」6回 開催 「中学生食育教室」2回 開催	専門家講師等による親子料理教室は大変好評でした。食に関する情報を正しく理解し、親子でおいしく楽しく調理・食事することで食に関する関心意欲を高めることにつながりました。

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性
Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう	c 食を通じた地域活性化の促進	1 「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。	広報とよなかに「うちのお店も健康づくり応援団の店」及び「ヘルシーメニューコンテスト」募集記事を掲載することなどにより普及を呼びかけました。 28年度は、商工会議所会報へも募集記事を掲載させていただきました。	食を支える環境づくりの普及啓発を行いました。 今後も継続して市内の飲食店に啓発を行っていきます。	○
		Ⅳ 食へるもの、食へることを大切にしよう	a 体験・機会の充実	1 施設見学	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	市民団体等を対象に、学校給食センターや緑と食品のリサイクルプラザなどの見学にご案内しています。	年間見学実施回数4回、参加者数102人 うち食育関係施設（給食センター）0回	継続して市民の参加を呼び掛けます。
2 収穫体験	障害福祉課							●	●	●	市立障害者通所施設等の利用者が、野菜の収穫を体験します。	たちばな園の園庭にて、野菜や果物の栽培や収穫を行いました。	育てる作物の種類を決めるところから、利用者同士の話し合いで決めました。食を通じたコミュニケーションをはかる大切な機会となりました。平成29年度よりみのり園が民営化、たちばな園が指定管理者制度の導入をしたことに伴い、事業完了しました。	完	

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
IV 食べるもの、食べることを大切にしよう	a 体験・機会の充実	3 菜園活動、調理体験	あゆみ学園、しいの実学園			●						①園内にある畑で野菜等を栽培、収穫しています。 ②園でとれた作物や、給食の材料等を使って調理体験をしています。	随時実施。	食材が料理になっていく過程を体験すること自体が楽しい食経験であり、食への興味につながっていると思われます。また、調理体験後に食べられる食材が増えることへの姿がみられました。	○	
		4 食育スタディーデー みんなで収穫祭	健康増進課				●		●	●		(NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21協力) 小学生とその保護者を対象に環境学習・収穫体験・共食体験などを行います。	1回 64人	スタッフの配置の工夫等により効果的に事業が行えました。参加者にも好評でした。平成20年当初は、食育推進計画担当部署として環境分野との協働による食育推進を行ってきました。約10年で環境分野でも食育の取り組みは定着しています。よって、本事業は28年をもって終了します。	完	
		5 市民農園	産業振興課						●	●	●	●	①募集から斡旋、契約事務 ②苦情処理 ③栽培講習会 ④運営費助成事務等 ①～④の事業推進による農地の活用及び都市農業・食育の啓発をはかっています。	1区画約15㎡を23か月利用 25農園1,008区画	市街地の中での農園はいろいろなトラブルがあり、市が時間を取られることが多くなっていますが、市民が余暇を楽しむ場として定着しています。	○
		6 農業祭	産業振興課		●	●	●	●	●	●	●	●	年1回11月に、農協等と実行委員会形式で実施しています。市内で栽培された野菜や観葉植物等の即売、つくたてあんこもちの配布等の実施による都市農業・食育の啓発を行っています。	11月19日(土) 豊島公園多目的広場 来場者数 4,000人	市民が豊中に農業があることを再認識する場となっています。	○
		7 給食センターの見学の受入れ (市民向け)	学校給食課							●	●	●	給食センターの様子を見学し、学校給食への理解を深めています。	17団体(329名)の方たちが参加してくれました。	給食への理解と食への関心を深めてもらうことを目的として実施しています。	○
		8 保育、教育の中で交流体験機 会の提供	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園、 豊中市民間保育園連 合会加盟保育園				●							○農家と交流しています。 ○魚のさばき方の見学をしています。 ○年齢に合った調理体験・収穫体験を行っています。 ○季節行事：らっきよ漬・栗拾い・干柿づくり・収穫祭などを行っています。 ○茶道体験をしています。	左記に加え、隣接する小学校から児童が来園し、紙芝居を読んだりしてくれる。	栽培し、生長の過程を知ることができ、興味をもって調理体験するなど食への関心が高まっています。

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
IV 食へるもの、食へることを大切にしよう	a 体験・機会の充実	9 自然と親しむ事業	豊中市社会福祉協議会		●	●	●	●	●	●	●	(小地域ネットワーク事業(市補助事業)の1つとして実施) いも掘り等の土に親しむ事業を校区の実情に合わせて実施しています。	7校区			
		10 自然と親しむ事業	豊中市私立幼稚園連合会		●	●	●	●	●	●	●	いも掘り等の土に親しむ事業を地域の実情に合わせて実施しています。	同左。	野菜の生長や、収穫のよろこびを体感できます。	○	
	b 環境教育・環境学習の促進	1 環境交流センターにおける情報提供等業務	環境政策課			●	●	●	●	●	●	●	3R実践市民講座	実施回数：2回 参加人数：31人	家庭でのごみ減量の一環として、若い家族世帯を主なターゲットとし、楽しく参加・体験しながら、3Rの推進や、グリーンコンシューマー、食品ロス・ゼロに向けた取り組み(とよなか食べ切り運動)を学んでいただきました。	○
		2 とよなか市民環境展	NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21			●	●	●	●	●	●	●	豊中市(環境政策課)・豊中市教育委員会・とよなか市民環境会議・公益財団法人豊中市スポーツ振興事業団と共催。市民、事業者、行政の環境問題解決に向けての取り組みの発表・交流の場。概ね、11月第3もしくは第4週に実施しています。	来場者数：3,085人	市民団体、事業者、行政等の日頃の環境活動・事業の成果を披露、発信することを通じて、市民のみなさんに理解・共感していただいています。	○
3 環境学習の推進	環境政策課			●	●	●	●	●	●	●	①事業者と連携し、小学校へ環境学習に関する広報活動を行いました。 ②ESDリソースセンターWEBにより、豊中市内の、食育に寄与する店舗などを紹介しています。	①6校 16クラス 506名 ②掲載内容を随時更新。	①「食べ物やエネルギーを大切に作る」「水を汚さない」「ごみを減らす」などについて考えながら、買い物・調理・食事・片づけなど、食に関わる一連の行動について子どもたちが実践を通して自ら体感して学んでもらうことができました。 ②市民のみなさんに、食への関心を高めていただくとともに、食材、食事を大切にすることを学んでいただいています。	○		

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25~29年度)	今後の 方向性	
IV 食 べ る も の 、 食 べ る こ と を 大 切 に し よ う	b 環 境 教 育 ・ 環 境 学 習 の 促 進	4 市 民 に よ る 環 境 活 動 へ の 支 援 (豊 中 ア ジ ェ ン ダ 21 の 普 及 ・ 促 進)	環 境 政 策 課		●	●	●	●	●	●	●	「とよなか市民環境会議」の事務局として、ネットワーク組織としての活動、ならびに構成団体である市民団体・事業者が主体的に取り組む環境活動の促進を支援します。また、「豊中アジェンダ21」の推進組織である「NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21」が主体的に行う普及・啓発活動や実践活動を支援しています。	とよなか市民環境会議総会の開催 参加者数：128人 とよなかエコ市民賞表彰式の開催 参加者数：80人	「とよなか市民環境会議」の事務局として、総会の開催や環境活動の表彰を行ってきました。また、「豊中アジェンダ21」の推進組織である「NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21」の活動の支援を行いました。	○	
		5 生 ご み ・ 剪 定 枝 堆 肥 の 配 布 ・ 頒 布	公 園 み ど り 推 進 課 、 N P O 法 人 と よ な か 市 民 環 境 会 議 ア ジ ェ ン ダ 21 ・ 花 と 緑 の ネ ッ ト ワ ー ク と よ な か		●	●	●	●	●	●	●	●	市が、学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しなどに、公園や街路樹から出る剪定枝をチップ化したものを混合し、堆肥化しています。できあがった堆肥「とよっぴー」は、アジェンダ21・花と緑のネットワークとよながが土壌改良材として、学校・こども園、市内等の農家のほか、各種イベントなどで配布・頒布しています。	約95.6トン	市の学校給食センターから発生する生ごみを堆肥化することで、持続的な循環型社会づくりに向けた資源循環の啓発にもつながっています。	○
		6 エ コ ク ッ キ ン グ 講 座	減 量 推 進 課					●	●	●	●	●	市民の皆さんの「もったいない」の意識を高め、食品ロス・ゼロに向けた取り組みを推進します。具体的には、食材をできる限り全て利用して調理するエコクッキング講座を開催する等で情報提供を行っています。	エコクッキング講座の開催（親子向け7/27 18名、8/3 17名、一般向け12/27 14名参加）	「エコクッキング講座」とその実施内容についてホームページ等で情報提供をし、食品ロスへの取り組みについて大々的に周知をおこないました。平成28年度は夏休み期間に親子向けとして、豊中エコレシピコンテストグランプリメニューのレシピを活用したエコクッキング講座を2回開催し、また、一般向けとして12月に1回開催しました。	—

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25~29年度)	今後の方向性	
IV 食 べ る も の 、 食 べ る こ と を 大 切 に し よ う	b 環 境 教 育 ・ 環 境 学 習 の 促 進	7 絵本「きょうのきゅうしょく な～にかな」の活用	減量推進課		●	●	●					小学校給食の食べ残しを減らし、食べ物を大切にしたいという願いをこめて職員が作成しました。 なぜ食べ物を残すとダメなのかを、身近な野菜や子どもたちを登場させることで、感情移入しやすく、言葉は全てひらがなを使用しているため理解しやすい内容になっています。	4000冊増刷。 市内こども園等の年長児に配布。 市内図書館、小学校・中学校図書館にも配布。 その他イベント時に配布。	先生、子ども、職員のつながりを大切に市内の全こども園・幼稚園の年長児を対象として、給食の大切さを知ってもらおう、絵本を用いて環境学習を行ってきました。	◎	
		8 とよなか食品ロス・ゼロハンドブックの活用	減量推進課		●	●	●	●	●	●	●	●	市民の「もったいない」の意識を高め、食品ロスを削減するために、食べ残しや手つかずで捨てられる食品等の食品ロス実態や食の大切さを情報提供するとともに、ごみをなるべく出さない調理法や買い物のしかた等食品ロスの削減に関する実践事例・アイデアについて分かりやすく解説し、実践行動に移していただくために作成しました。	改訂版vol2を6000冊発行。 市内こども園等の年長児の保護者に配布。 市内図書館、小学校・中学校図書館にも配布。 その他イベント時に配布。	配布する方法を工夫することで、食品ロスについてアピールできました。 平成28年度は、内容の見直しを図り、vol2を発行。新しい取り組みとして試行実施した「フードドライブ」の特集記事を掲載し、PRを図りました。	◎
		9 保育、教育の中で食の循環に関する取り組み	市立こども園、小学校				●	●						教育・保育の一環として行う野菜や稲の栽培時に、野菜くず・落ち葉を活用した堆肥を使うことで、ごみの減量に取り組むとともに、食の循環を体現し自然の恵みに感謝する気持ちを育てています。	季節折々の野菜や果物（いちご、さつまいも等）や稲の栽培を年間計画して取り組んでいます。落ち葉やよっぴーを畑の肥料として利用し、収穫したものを給食の食材やクッキングに使用しました。	堆肥作り菜園活動、収穫、クッキングと一連の体験をすることで「食を営む力」を育むことに努めています。 園の畑なので成長の過程を身近に感じることができました。 子ども達と落ち葉を拾うことは良いと考えます。
		豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園				●	●					保育・教育の一環として行う野菜や稲の栽培時に、野菜くず・落ち葉を活用した堆肥を使うことで、ごみの減量に取り組むとともに、食の循環を体現し自然の恵みに感謝する気持ちを育てています。	同左。	子どもたちが興味をもちやすい題材を扱いながら継続実施が必要。	○	

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25~29年度)	今後の 方向性
IV 食べるもの、 食べることを大切にしよう	b 環境教育・ 環境学習の 促進	10 とよっぴー(生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食食材として使用する「食のリサイクル」の取り組み	こども事業課、市立こども園(旧保育所)			●	●					とよっぴー(学校給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食で使用しています。	今年度は、市内農産物の使用がありませんでした。	地産地消のとりくみが大切なことはこども園全体に浸透できています。	○
			学校給食課			●	●						とよっぴー(給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食で使用しています。	全小学校41校の給食で使用	安心・安全な食の提供と地産地消の取り組みとして有効です。
	11 みどりのカーテンづくり	公園みどり推進課				●	●	●	●	●	●	市民との協働で行う豊中みどりの交流会により、小学校、こども園や授産施設等でみどりのカーテンづくり(ゴーヤの栽培)の取組を支援しています。収穫したゴーヤは、小学校等において、食育として活用されています。	小学校 31校 こども園・授産施設等 38施設	みどりのカーテンづくりに取り組む小学校等の数が高水準で推移しており、着実に緑化啓発や食育が推進されています。	○
	12 緑と食品のリサイクルプラザ見学対応	公園みどり推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか		●	●	●	●	●	●	●	●	(アジェンダ21により指定管理者事業として実施) 見学者に対する有機性資源循環の仕組みと食の重要性の啓発を行っています。	23回、451人	農体験を含めた施設見学は、多方面からの安定した需要がある一方で、学校からの見学者は例年、ほぼ同じ小学校の児童となっているため、他の小学校や教育機関への広報が課題となっています。	○
	13 堆肥化講習会	公園みどり推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか					●		●	●	●	(アジェンダ21により指定管理者事業として実施) 家庭向け堆肥づくり講習会を行うことにより、生ごみの発生抑制、家庭菜園での堆肥活用を推進しています。	11回、64人	定期的に開催しているため、各回の参加者は少人数となっていますが、安定した参加数があります。個別に詳しい説明や助言等をすることができ、好評を得ています。	○
	14 栽培講習会	公園みどり推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか								●	●	●	(アジェンダ21により指定管理者事業として実施) 有機性資源を活用した上手な野菜づくりの講習会を開催しています。	3回、24人	堆肥「とよっぴー」を活用した減農薬・有機性資源栽培の講座等を実施することにより、食への関心を高め、自産自消を推進することができています。
15 講座型環境学習	公園みどり推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか					●						(アジェンダ21により指定管理者事業として実施) 希望する小学校等に出向いて、主に4年生・5年生を対象に、生ごみの発生抑制や資源循環を推進するため、米づくり・食品ごみ・地産地消等をテーマに講座を実施しています。	32回、2,551人	資源循環に対する関心の高まりに伴い、米づくりなどの学校菜園活動に取り組む小学校が増加しており、講座型環境学習も継続的に実施されています。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25~29年度)	今後の 方向性		
IV 食べるもの、 食べることを大切にしよう	b 環境教育・ 環境学習の 促進	16 農体験学習	公園みどり推進課、 NPO 法人とよなか市 民環境会議アジェ ンダ 21・花と緑のネッ トワークとよなか			●	●		●	●		(アジェンダ 21 により指定管理者事業 として実施) ①希望する小学校等に出向いて、主に 4 年生・5年生を対象に、野菜の植え付け・ 収穫、お米づくりなどの農体験学習を実 施しています。 ②親子や児童・生徒等に対し、「とよっ ぴー農園」において、野菜の植え付け・ 収穫等の農体験学習を実施しています。	①農体験学習(小学校等) ; 32 回、 2,701 人 ②農体験学習(とよっぴー農園) ; 16 回、492 人	児童を対象とした農体験学習 は安定した需要があり、親子を 対象としたシリーズ制の収穫 イベントなどについても、都市 部で農業を学べるという点か ら好評を得ています。	○		
		17 とよっぴーフェスタ	公園みどり推進課、 NPO 法人とよなか市 民環境会議アジェ ンダ 21・花と緑のネッ トワークとよなか		●	●	●	●	●	●	●		豊中産もち米を使用した餅つきや、とよ っぴー農園でのいも掘り体験など、食と 資源循環について楽しく学べる様々なイ ベントを実施しています。	900 人	毎年、多くの来場者があり、子 どもから大人まで楽しめる内 容となっています。また、資源 循環について学ぶための良い 契機になっていると考えられ ます。(平成 27 年度までは「と よっぴー祭り」として実施)。	○	
		18 とよっぴー展	公園みどり推進課、 NPO 法人とよなか市 民環境会議アジェ ンダ 21・花と緑のネッ トワークとよなか				●	●	●	●	●	●	堆肥「とよっぴー」の製造に関するパネ ル展示や、粉すり機等の農機具、給食の 食べ残しなどのパンの実物展示等をして います。	350 人	普段は目にする事のない給 食の食べ残しなどの実物展示 や「とよっぴー」の試供品の配 布等を実施し、資源循環の重要 性について考えていただく工 夫をしています。市役所の市民 ロビーで開催することで、気軽 に立ち寄っていただくことが でき、広く啓発活動ができてい ます。	○	
		19 とよっぴー倶楽部	NPO 法人とよなか市 民環境会議アジェ ンダ 21・花と緑のネッ トワークとよなか								●	●	(団体自主事業) 市の堆肥化事業の市民応援団を組織し、 有機性資源の活用を推進しています。年 会費 1,000 円で、主に堆肥「とよっぴー」 の頒布日に受け付けています。また、年 4 回のニュースレターを発行・郵送して います。	69 人			
		20 生ごみ堆肥化容器等助成	公園みどり推進課、 NPO 法人とよなか市 民環境会議アジェ ンダ 21・花と緑のネッ トワークとよなか								●	●	●	家庭での生ごみの堆肥化活動を支援する ため、堆肥化資材の提供や、容器等の購 入費の助成等をしています。	ダンボール資材 : 19 件 密閉バケツ : 2 件 コンポスト : 0 件 電動処理機 : 1 件	手軽に始められるダンボール 箱での堆肥づくりを中心とし た家庭における堆肥化の取り 組みに対して、継続的な活動支 援ができています。	○

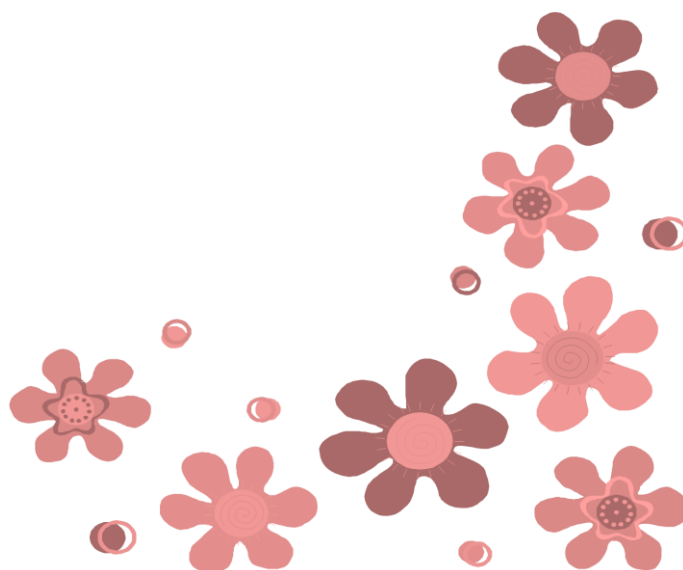
基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性	
IV 食べるもの、 食べることを大切にしよう	b 促進 環境教育・環境学習の	21 堆肥「とよっぴー」使用野菜 等の学校等給食提供	公園みどり推進課、 NPO 法人とよなか市 民環境会議アジェン ダ 21・花と緑のネッ トワークとよなか				●					豊中市内の農家の協力をいただき、市で 製造した堆肥「とよっぴー」を使って育 てた米や野菜を小学校等の給食に提供す ることで、地産地消の取組みおよび資源 循環の啓発を行っています。	119回、6種類	協力農家の増加に伴う提供品 種の多様化、学校給食への玉ね ぎの一斉提供などにより、安定 した提供実績となっています。	○	
	c 地産地消の推進	1 豊中市農業経営者協議会との 協働による都市農業の振興	産業振興課					●	●	●	●	①部会ごとに事業を実施しています。 ○指導者部会－協議会の基本事項等につ いて協議。 ○研究部会－豊中まつり、農業祭におい て新鮮野菜を安価で販売。市民農園技術 指導、農業講座等を実施。 ○花卉部会－花卉の栽培技術の向上等の 調査、研究を実施。 ②上記事業を実施している協議会との連 携・協働による地産地消の推進、都市農 業・食育の啓発を行っています。	豊中まつり、農業祭における豊中産 野菜の直売 学校給食副食用野菜の出荷 農業先進地技術交換会の実施 市民農園の技術指導（平成28年度 12農園）	地産地消の協力者が少しずつ 増加していますが、農業者の高 齢化に伴い、いつまで続けてい くことができるかが課題です。	○	
		2 地産地消バザー	くらし支援課							●	●	●	（とよなか消費者協会に委託） 地産地消の推進を目的に、くらしかんの 「生活情報ひろば事業」の一環として地 産地消バザーを実施しています。	毎月第2水曜日くらしかん生活情報 ひろばで、とよなか消費者協会が核 になって企画・担当「地産地消イベ ント」を開催しています。	地産地消を啓発できました。	○
		3 堆肥「とよっぴー」使用野菜 等の頒布	公園みどり推進課、 NPO 法人とよなか市 民環境会議アジェン ダ 21・花と緑のネッ トワークとよなか							●	●	●	地産地消の推進を目的に、くらしかん（第 2水曜日）や、さわ病院（第4木曜日）、 環境交流センター（第1土曜日）など で市で製造した堆肥「とよっぴー」を使 って育てた野菜等を頒布しています。	61回、2,107人	堆肥「とよっぴー」を使って育 てた野菜等を提供していただ ける協力農家の増加に伴い、安 全・安心な野菜を届ける頒布会 も充実した内容となり、消費者 からは好評を得ています。各地 域に宣伝ビラを配布するなど、 さらなる定着化を図る取り組 みを進めています。	○
	4 豊中市産大根の試食	産業振興課			●	●	●	●	●	●	●	農業祭で市民300人に大根炊きをして試 食していただきました。	11月19日（土）豊島公園にて開催 した農業祭（来場者4,000人）にお いて大根（豊中市産）を炊き、市民 300名に試食していただきました。	地産地消を啓発できました。豊 中市産農産物の啓発と美味し く食べる喜びにつながる取り 組みと考えます。	○	

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性		
N 切 り 込 み の 食 育 の 推 進	c 地 産 地 消 の 推 進	5 桜井谷あおぞら朝市	桜井谷あおぞら朝市 運営委員会		●	●	●	●	●	●	●	(団体自主事業) 桜井谷地域を中心にした地場野菜等を販 売する朝市を毎月第1,3土曜日(7月、8 月は毎週)午前9時(夏期は8時半)か らJA大阪北部桜井谷支店駐車場で開催 しています。	30回開催 毎月、1日(ついたち)稲荷神社で も実施しました。	地産地消の推進として十分に 成果はあがっています。	○		
		1 ①「にこりちゃん歯科健診」 ②「パパ・ママ歯科相談」	健康増進課				●		●	●			1歳6か月児健診の結果H17と判定され た幼児とその保護者を対象に、個別相談 や健診を、3会場で実施しています。	①「にこりちゃん歯科健診」22回 629人 ②「パパ・ママ歯科相談」22回212 人	食育推進の目標に沿った指 導・助言を行っています。	○	
		2 歯科健診時の保健指導	健康増進課				●		●	●			歯科医師や歯科衛生士による相談や保健 指導を行っています。	歯科医師や歯科衛生士による相談や 保健指導を行いました。	食育推進の目標に沿った指 導・助言を行っています。	○	
		3 歯科健診の実施	こども事業課, 学校教育課		●	●	●							虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした 歯科健診を実施しています。	年1回全園児、児童、生徒実施	虫歯予防を含め歯の健康に対 して、子ども・保護者ともに関 心が高く、子どもの齲歯は少な くなってきています。良い食生 活は歯磨きと共に虫歯予防に 大切で今後も啓発を続けるこ とで健康増進につなげたいと 考えます。	○
			豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園		●	●	●							虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした 歯科健診を実施しています。	同左。	歯科疾患の予防につながりま した。	◎
4 歯みがき指導	豊中市民間保育園連 合会加盟保育園、市 立こども園各保育 所、豊中市私立幼稚 園連合会加盟幼稚園				●							昼食やおやつの後に行う年齢に応じた歯 みがき指導を行っています。	同左。	家庭でも歯みがきが習慣づく ようです。	◎		
5 歯科健診、歯磨き指導	あゆみ学園、しいの 実学園				●							①歯科健診 ②歯科衛生士による歯磨き指導 ③保護者への講話、相談対応 ④給食後の歯磨き ⑤保育の中での歯磨き指導	①あゆみ学園 1回、しいの実学園 2回 ②しいの実学園 1回 ③随時実施 ④毎日実施 ⑤随時実施	個々の口腔機能や、口の中の感 覚、歯磨きの好き嫌い等を配慮 した上で実施することができ ました。毎日の歯磨きを習慣づ けることをはじめ、歯や口の健 康づくりにつながっていると 考えます。	○		

基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25~29年度)	今後の 方向性	
V 歯や口の健康を維持・増進しよう	a 歯科疾患の予防	6 お口の健康づくり講習会の普及	老人クラブ連合会									● (団体自主事業) お口の健康づくり「ごっくん・にっこり体操」の普及のためDVDの配布	単位老人クラブにて実施している	今後、普及に努めていきたい	○	
		7 歯の保健巡回指導	(一社)豊中市歯科医師会、 豊中市学校歯科医会				●					児童が歯の健康に関する知識と関心をもち、歯の健康の維持と病気の予防を實踐できる能力を身につけることを目的とし、歯科衛生士専門学校の協力のもと、2年サイクルで市立全小学校に保健巡回指導を実施しています。	歯科衛生士専門学校5校により、22校にて実施。	今後も引き続き実施していきたい。	○	
	b 歯や口の健康づくりに関する情報提供と普及・啓発	1 マタニティーママのデンタル教室	健康増進課		●								妊婦を対象に、歯科衛生士による妊娠期からのお口の健康づくりの話や、歯みがきとデンタルフロスの実習を行っています。	28年度よりマタニティークラスとして実施	内容を見直し、新しいクラスとして継続していきます。	完
		2 すくすくよい歯の教室	健康増進課			●							乳幼児期の歯科保健に関する知識の普及、啓発(講話・健診)。3会場で実施しています 予約制。13年度より内容を見直し、1回2日制に変更しましたが。15年度より、内容を維持しつつ、受講者の利便性を考え、1回1日制に変更しました。	年30回 645人	対象や内容を見直しながら、継続していきます。	○
		3 保育施設との協働企画幼児の食育を支える歯や口の健康づくりの取り組み	健康増進課			●							保育園(所)・幼稚園と協働し、職員への情報提供(研修会の開催、指導用資料等の配布)を実施。(食育推進協議会協力)	28年度は実施していません。		○


基本目標	基本方針	事業等	所管部局 関連団体等	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	28年度実施状況	5年間の総合評価 (平成25～29年度)	今後の 方向性		
V 歯や口の健康を維持・増進しよう	b 歯や口の健康づくりに関する情報提供と普及・啓発	4 「歯や口の健康づくりハンドブック」	健康増進課							●	●	●	歯や口の健康づくりについて、介護予防を中心におおむね壮中高年期を対象に情報提供と普及啓発をおこないます。	中高年期を中心とした地域教育活動で活用。 豊中市健康づくり推進員会30周年記念式典の基調講演での配布や、老人会集会での配布	ハンドブックやDVDの提供希望も多数あり。高齢者を中心とした効果的な啓発となっています。	◎	
		5 親子でかむかむクッキング	健康増進課			●		●	●				よく噛んで食べるための話と親子での調理実習	1回 9人	幼年期の子ども及び保護者に噛むことの重要性を伝え、親子で調理する機会を提供できました。	○	
		6 よい歯の集い	(一社)豊中市歯科医師会、 豊中市学校歯科医会			●	●	●	●	●	●	●		口腔衛生の啓発を目的に、歯と口の健康週間(6月4日～10日)にちなんで、小学校を会場に、啓発イベント、学校歯科医による講演、歯科医を講師とする特別授業参観等を実施。	少路小学校で開催。 総来場者数2,288人。	さらなる口腔保健衛生啓発に努力していきたい。	○
		7 よい歯の高齢者8020表彰	(一社)豊中市歯科医師会									●		80才以上で20本以上歯のある市民を対象に公募。アクア文化ホールにて受賞者を一同に会し表彰式を開催しています。	受賞者192名	毎年多数のご応募を頂き、8020運動がひろく市民にひろまっていることを実感できた。	○
		8 よい歯のコンクール	(一社)豊中市歯科医師会			●								大阪府主催の「全大阪よい歯のコンクール」の地区審査会を健康増進課と協力し、3歳半健診を受診した幼児と保護者を対象にコンクールを実施しています。	豊中市医療保健センターにて豊中市地区2次審査を行い、3組の地区代表を選出した。	今後も引き続き実施していきたい。	○
		9 豊中市民健康展	(一社)豊中市歯科医師会			●	●	●	●	●	●	●		豊中市医師会・豊中市薬剤師会とともに主催。歯科ブースでは歯科健診、歯磨指導、フッ素塗布などを実施しています。	歯科ブースでの総のべ来場者数は1,629名。	さらなる口腔保健衛生啓発に努力していきたい。	○


Ⅲ. その他（食育関連の情報提供等）











食育推進貸出グッズ一覧



貸し出しを希望される方は、保健医療課 栄養士（6152-7309）へお問い合わせください。
使用目的によっては、貸し出しをお断りする場合があります。ご了承ください。

グッズ名、(所管)	概要
食育のぼり・旗 (保健医療課)	食育シンボルマーク・キャッチフレーズの 入ったのぼりと旗。  旗：5枚、ひもつき (縦約 90cm×横約 160cm) のぼり : 50本 ポールつき (縦約 150cm ×横約 45cm)
食育ジャンパー (保健医療課)	食育シンボルマーク・キャッチフレーズの入ったジャンパー (50枚) (色：ピンク、素材：ナイロン) イベント等で、スタッフジャンパーとしてお使いください。  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 背面 前面 </div>
豊中市食育推進計画 パネル (保健医療課)	食育推進計画概要版 (B3,カラー) 12枚1組  ＊第2期豊中市食育推進計画の概要がわかるパネルです。イベントや 講座のときの展示用です。




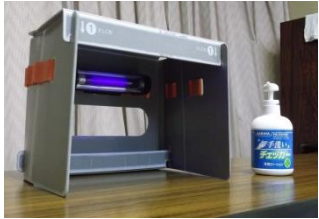
グッズ名、(所管)	概要
<p>お口の健康づくりパネルシアター (健康増進課)</p>	<p>『にこりちゃんとぴかりくんの大冒険』</p> <p>* 「カムカムの街」や「おやつの街」などいろいろな街を通りにこりちゃんとぴかりくんが探検をして学びながら、丈夫な歯を持つ元気な子どもの国に向かって進んでいくストーリーです。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・パネルシアター絵人形 ・パネルシアターステージ ・台本 ・演じ方DVD <p>※ 「にこりちゃん・ぴかりくんの大冒険」作成希望の方もご連絡ください。</p>
<p>そのまんま料理カード (健康増進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっぴりごちそう編 ・食事バランスガイド編 ・3皿でバイキング編 ・菓子飲み物カード (群羊社)  <p>* 実物大の料理カードです。重たくないので、持ち運びしやすいです。料理を例示しながらお話しするときに使っています。</p>
<p>食事バランスガイド掛け図 (健康増進課)</p>	<p>縦約100cm ×横約120cm 布タイプ</p>  <p>* バランスガイドについて説明するときに使います。大きいサイズなので、講義のときなどに使うことができます。巻いて持ち運びすることができます。</p>

グッズ名、(所管)	概要
<p>食育エプロン (健康増進課)</p>	<p>エプロンシアター 「早ね早おき朝ごはん」 ～生活習慣からはじめる食育～ 演じ方 DVD 付 (メイト)</p>  <p>「味覚を育てる食育エプロン」 ～味覚・歯と口の衛生～ (メイト)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>おいしく楽しく食べる ためのお口の健康づく りについてのお話です</p> </div>  <p>*エプロンのポケットから色々なものを取り出して、エプロンにはりつけたりしながら話します。一人で劇のように演じることができます。幼児向けのお話に向いています。</p>
<p>まめつまみセット (健康増進課)</p>	<p>セットの内容 (6セット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗箸 1 ・ 割り箸 1 ・ 器 4 ・ 小豆 30g ・ 大豆 30g ・ スーパーボール 25個 <p>セットの他に、・キッチンタイマー 2個</p> <p>*まめつまみゲームができます。豆などを箸で器から器にうつし、制限時間内に何個うつすことができたかをみるゲームです。盛り上がること間違いなし！</p> 
<p>私たちのからだをつくる食べ物のはなし (健康増進課)</p>	<p>パワーポイント資料</p> <p>* 3色栄養などについて学ぶことができます。小学校高学年向け、45分くらいの講座に使えるシナリオつき。アニメーションを多用しているので、楽しく講座ができます。CD-ROMでお貸ししますので、全部または一部コピーして使ってください。</p> 



グッズ名、(所管)	概要	
お口の体操人形けいすけ君 (健康増進課)	<ul style="list-style-type: none"> 取り外せる歯や動く舌がついている人形です。 	
顎模型と歯ブラシ模型 (健康増進課)	<ul style="list-style-type: none"> 20×15×15cmプラスチックの顎模型 23cmプラスチックの歯ブラシ模型 	
口腔内カメラ (健康増進課)	<p>小さなカメラをお口の中に入れ、9インチ程度のモニターでお口の中の状態を見ることができます。 (3台)</p>	
よい歯のつどいカルタ (健康増進課)	<p>B4サイズラミネート 読み札 50枚、取り札 50枚</p> <p>*平成21年度に庄内西小学校で行われた「よい歯のつどい」に展示された庄内西小学生作のカルタです。 ひらがなの読めない子どもでも取れるように、読み札の裏側に取り札と同じ絵を印刷しています。</p>	
はてなボックス (学校給食課)	<p>*クイズをしながら食育カードを入れると?ボックスの中でくるとひっくり返り、答えが出てきます。</p>	

グッズ名、(所管)	概要
<p>紙芝居 (学校給食課)</p>	<p>* 紙芝居 A2サイズの手づくり紙芝居 15種類あります。</p>  <div data-bbox="587 651 948 1021" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>けんいち君とまさお君のふたごの兄弟が、お皿ののって野菜の国へ行きました。 そこで人参君や玉ねぎ君の話聞き、今まで野菜が嫌いによくカゼをひいていたまさお君も、がんばってたべるようになり元気になりました。</p> </div> <div data-bbox="975 304 1358 902" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太郎君のむし歯 ・ 牛乳のおはなし ・ 食べもの大行進 ・ はな子さんの運動会 ・ ケンちゃんのぼうけん ・ ステップ ララちゃん ・ 牛乳をのもう ・ なんでも博士のロボット ・ 行こう！栄養の国へ ・ 楽しい給食 ・ まほうのサラスケ君 ・ みんな なかよし ・ 王子様の旅 ・ 栄養ってなあに？ ・ あさごはんを食べよう </div>
<p>とよっぴー (豊肥) (公園みどり推進課)</p>	<p>2.5kg・3kg (イラスト入り袋) 10kg (透明袋)</p> <p>* 「食の循環」に関する環境教育 (食育) 授業などに使うことができます。</p> 
<p>緑化用バーク (公園みどり推進課)</p>	<p>「剪定枝チップ」に少量の「とよっぴー」を混合してたい肥にしたもので、菜園・花壇等の土壌改良材として使用できます。</p> <p>公益活動を目的とする団体が所有・管理する施設や、公共団体が設置・管理する施設等に年間計画に基づき配付します。</p> 

グッズ名、(所管)	概要
<p>食育推進のための安全安心ハンドブックⅡ(冊子, パネル) (保健医療課)</p>	<p>食中毒を予防して安全で安心な食育活動を継続的に行っていただくために作成しました。</p> <p>地域のお祭りや、イベントなどで模擬店をしたり、調理実習をするときなどに活用していただくため配布します。 (配布数は応相談)</p>   <p>↑ ハンドブックパネル (B3,カラー) 20枚1組</p> <p>手洗いの方法、調理器具の洗い方など、必要な部分だけ掲示することも可能です。</p>
<p>消費者協会食育パネル (とよなか消費者協会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なにわの伝統野菜って? (B1サイズパネル 2枚) ・大阪特産物カード (A3サイズ 22枚) ・地産地消の推進 (A1サイズパネル 1枚) ・大阪エコ農産物とは (A2サイズパネル 1枚) ・なにわの伝統野菜について (A2サイズパネル 1枚) ・日本各地の郷土料理 (A3サイズ) <p>なにわの伝統野菜って? →</p>  <p>地産地消の推進 →</p>    <p>日本各地の郷土料理 ↑</p> <p>大阪特産物カード ↑</p> <p>* イベント等で展示することができます。</p>

グッズ名、(所管)	概要
我が家の料理レシピパネル (とよなか消費者協会)	<p>A 3サイズラミネート 53枚</p> <p>*とよなか消費者協会会員が我が家の自慢の料理を持ちよって試食し、写真とレシピをパネルにしました。イベント等で展示することができます。</p> 
お口の健康づくりハンドブックパネル (とよなか消費者協会)	<p>A 3サイズラミネート 24枚</p> <p>*お口の健康づくりハンドブックをパネルにしました。イベント等で掲示することができます。お口の健康体操や、食べやすくする調理の工夫などが載っています。</p> 
まるごとおいしい食育推進ハンドブックパネル (とよなか消費者協会)	<p>A 3サイズラミネート 24枚</p> <p>*まるごとおいしい食育推進ハンドブックをパネルにしました。イベント等で掲示することができます。季節ごとのメニュー、お手軽料理、豊中市内の食育実践のヒントなどが載っています。</p> 
手洗いチェッカー (衛生管理課)	<p>専用のローションを手に刷り込み、通常の手洗いを行います。洗った手をブラックライトにかざすと、洗い残した部分が白く浮かび上がります。</p>  <p>汚れの残りやすい箇所を目で見えて知ること、楽しみながら正しい手洗いの方法が学べます。</p>

グッズ名、(所管)	概要
<p>フードモデル (保健医療課)</p>	<p>実物大の食玩。食品の中に含まれる砂糖・油・塩の量が目で見て分かります。とても軽いので、持ち運びも容易です。</p> <p>①砂糖に気を付けようシリーズ (3種類) …缶コーラ、缶コーヒー(加糖)、オレンジジュース</p>  <p>②油に気を付けようシリーズ (3種類) …ポテトチップス、チョコレート、クロワッサン</p>  <p>③塩に気を付けようシリーズ (3種類) …インスタントヌードル、フライドポテト、ハンバーガー</p>  <p>表示カードはこども向けと大人向けがあり、裏返せば対象年齢に合わせた内容になります。</p> 

グッズ名、(所管)	概要
パソコン・プロジェクターほか (保健医療課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノートパソコン(東芝 dynabook) ・ OS : Windows8.1 ※タッチパネル非対応 ・ Microsoft Office Home and Business 2013 搭載 (Word / Excel / Powerpoint / OneNote 使用可) ・ 光学ドライブ内臓 ・ 小型プロジェクター(エプソン) ※スピーカー機能付き ・ 80 型スクリーン(持ち運び可能) ・ 各種ケーブル(HDMI ケーブル、オーディオケーブル) ・ レーザーポインタ <p>5 点 1 セットで、キャリーケースに入れて貸し出します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>* 食育関係であれば広く貸し出しが可能ですので、研修会等の開催時にご活用ください。</p> <p>* これらの物品は、大阪ガスグループ “小さな灯” 運動北東部支部様よりご寄付いただきました。</p>

平成 28 年度（2016 年度）豊中市食育推進計画年次報告書

平成 29 年（2017 年）8 月

豊中市 健康福祉部 保健所 保健医療課

〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1

TEL 06-6152-7309 FAX 06-6152-7328